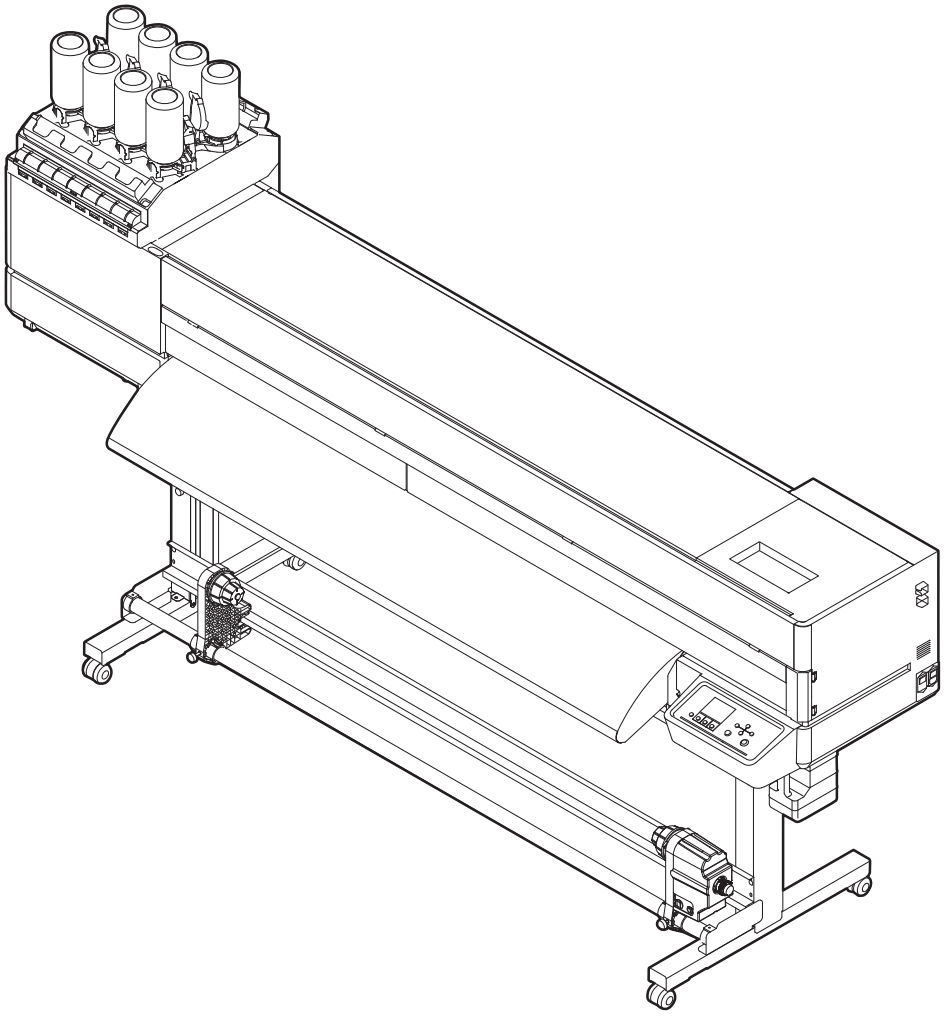
Operation Manual

UV INKJET PRINTER

UJV200-130 / 160

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D203917-13
Original instructions

目次

はじめに 5
安全にお使いいただくために 6
　シンボルマーク表示について 6
　使用上の警告と注意 7
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項 11
　インク仕様 13
　インク消費有効期限に対する本機の制限について 14
設置上のご注意 15
　設置スペース 16
　本機を移設したいとき 16
安全インターロックについて 17
警告ラベル 18

第 1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき 22
　正面 22
　背面/右側面 23
　キャリッジ 24
　ステーション 24
　プラテン 24
　ピンチローラーとグリットローラー 25
　メディアセンサー 25
　電源スイッチ 26
　操作パネル 27
1.2 電源ケーブルを接続する 30
　電源を入れる 30
　電源を切る 31
1.3 本機とコンピューターを接続する 33
　LANケーブルを使う 33
　USBケーブルを使う 34
1.4 システム構成 35
　Mimakiドライバーをインストールする 36
　RIP用ソフトウェアをインストールする 36
　カラープロファイルを入手する 36
　RIP用ソフトウェアを準備する 36
1.5 インクの交換方法 38
　インク残量をお知らせするメッセージ 38
　インクを交換する 39

第 2 章 プリントしてみる

2.1 プリントの流れ 46
2.2 プリントヘッドの高さを調整する 49

2.3 メディアをセットする..... 50
メディアについて..... 50
巻き取りユニット..... 51
繰り出しユニット..... 53
ロールメディアをセットする..... 55
メディアを登録する..... 60
2.4 ヒーターの温度を設定する..... 62
2.5 テストプリントをする..... 63
テストプリントの配置方向を変更する..... 63
ホワイトインクの吐出を確認する..... 64
吐出不良について..... 64
2.6 ヘッドクリーニングをする..... 65
2.7 自動補正をする..... 66
2.8 フィード補正をする..... 67
フィード補正の手順..... 67
2.9 ドット位置補正をする..... 69
ドット位置補正の手順..... 69
2.10 RIPデータを準備する..... 71
2.11 プリントする..... 73
原点を変更する..... 73
プリントを開始する..... 74
プリントを中止する（データクリア）..... 75
2.12 引き戻し印刷について..... 76
トンボ付きの引き戻し印刷をする場合..... 76
トンボ検出に失敗した場合..... 77
2.13 メディアを裁断する..... 78

第 3 章 各種設定

3.1 メディア設定メニュー..... 80
3.2 メンテナンスメニュー..... 83
手動でノズルリカバリーを登録する..... 86
ノズルチェック（オプション）とは..... 86
3.3 機能設定メニュー..... 87
3.4 環境設定メニュー..... 89
3.5 マシンステータスメニュー..... 91

第 4 章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意..... 94

4.2 メンテナンスの方法 95
メンテナンス項目とタイミング 95
インクのメンテナンス 96
キャップゴムの清掃 96
キャリッジ底面の清掃 97
布ワイパー周辺の清掃 98
NCU（オプション）の清掃 99
DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃 100
インク排出経路の洗浄 101
メディアセンサーの清掃 101
メディア裁断カッターの清掃 102
メディア押さえの清掃 103
ジャムセンサー検出板の清掃 104
プラテンの清掃 104
カバー（外装）の清掃 105
長期間使用しないときは 105
4.3 消耗品の交換 107
消耗品を交換するタイミング 107
布ワイパーの交換 108
キャップの交換 111
ステーション周辺の吸収材の交換 113
メディア押さえの交換 114
メディア裁断カッターの交換 116
廃インクタンクの交換 117
インクボトルキャップの交換 120

第 **5** 章 困ったときは

5.1 故障かな?と思ったときは 122
電源が入らない 122
プリントできない 122
メディア詰まり、メディアが汚れる 122
画質不良が発生した 123
ヒーターの温度が規定値まで上昇しない 127
インクが漏れた 127
遮光カバーが外れてしまった 127
クリーニングしているときに異音がする 128
5.2 メッセージを表示するトラブル 129
ワーニングメッセージ 129
インクエラー 132
エラーメッセージ 133
SYSTEM HALT 140

第 **6** 章 付録

6.1 仕様 142
6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare) 145

はじめに

この度はインクジェットプリンターUJV200シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2026 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- UJV200シリーズ（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害を発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

	内　容	
⚠警告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
⚠注意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
注記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
重要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警 告

- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注 意

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったり、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気の場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
  （大阪） 072-727-2499 24時間対応
  （つくば） 029-852-9999 9～21時対応

注 記

- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

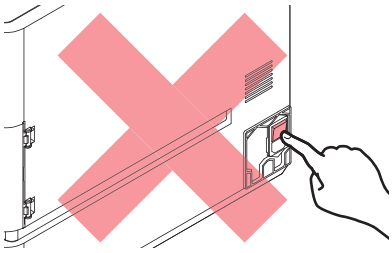
⚠ 警 告

- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注 意



・顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



・長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警 告



・本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● ヒーターについて

⚠ 注 意



・ヒーターは非常に高温になりますので、素手で触らないでください。

注 記

● 紫外線（UV）、UV-LEDユニットについて

⚠ 警 告



・UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
・UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光用フェイスシールド、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。

(1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
- 急性障害：炎症など
- 慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど

(2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
- 急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
- 慢性障害：翼状片、白内障など

⚠ 注 意



・UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



・UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。

- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

注 記

- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警 告

- 本機に子供を近づけないでください。

注 記

- クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。

重要!

- プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

● 本機の廃棄について

⚠ 注 意

- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。https://japan.mimaki.com/supply/sds/

⚠ 注 意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。

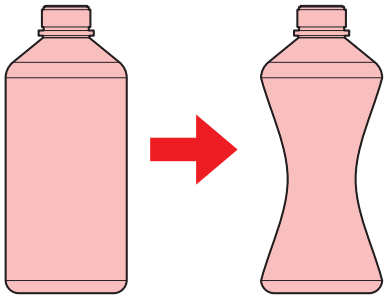
  (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。

  (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。

  (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



インク仕様

項目		詳細
種類		専用UV硬化インク（ミマキエンジニアリング純正品）
カラー*1		シアン（C） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） ホワイト（W） クリアインク（CI）
形態		ボトル
インク容量*1		1,000 ml
消費有効期限		有効期限はインクパックに記載されているとおり。ただし、開封後は消費有効期限内であっても3か月以内の使用を推奨。
保存温度	保存時	5 - 30°C（1日の平均気温） • ただし、30°Cの場合1か月以内 • 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。
	輸送時	1 - 60°C • ただし、60°Cの場合120 時間以内、40°Cの場合1か月以内 • 0°Cより低温になる場所、40°Cより高温になる場所は、できる限り避けること。 • 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

*1. インク種による

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例）消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。



- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

重要！

- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

設置上のご注意

⚠ 警 告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。



- 設置・メンテナンス時において、安全機能（インターロック等）を解除して作業を行う場合には、各工程に記載された警告事項を必ず事前に確認し、遵守してください。不適切な取り扱いは、重大な人身事故につながるおそれがあります。

⚠ 注 意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。

  (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。

  (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注 記



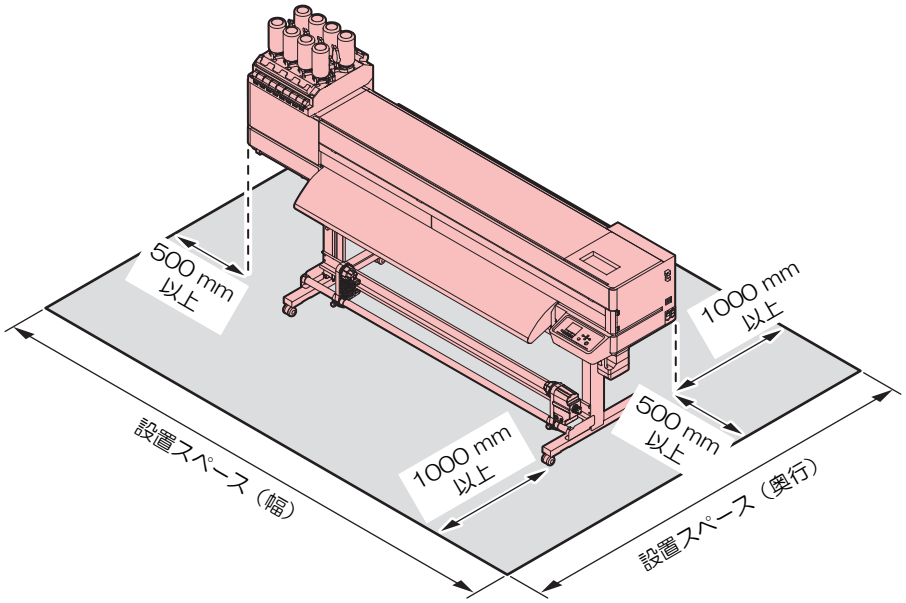
- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風があたる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満する場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



サイズ	130	160
幅*1	3,520 mm以上（2,520 mm）	3,770 mm以上（2,770 mm）
奥行き*1	2,748 mm以上（748 mm）	
高さ*1	（1,405mm）	
重量	（155kg）	（160kg）

*1. （）内は、インクボトルを除く本機のサイズ

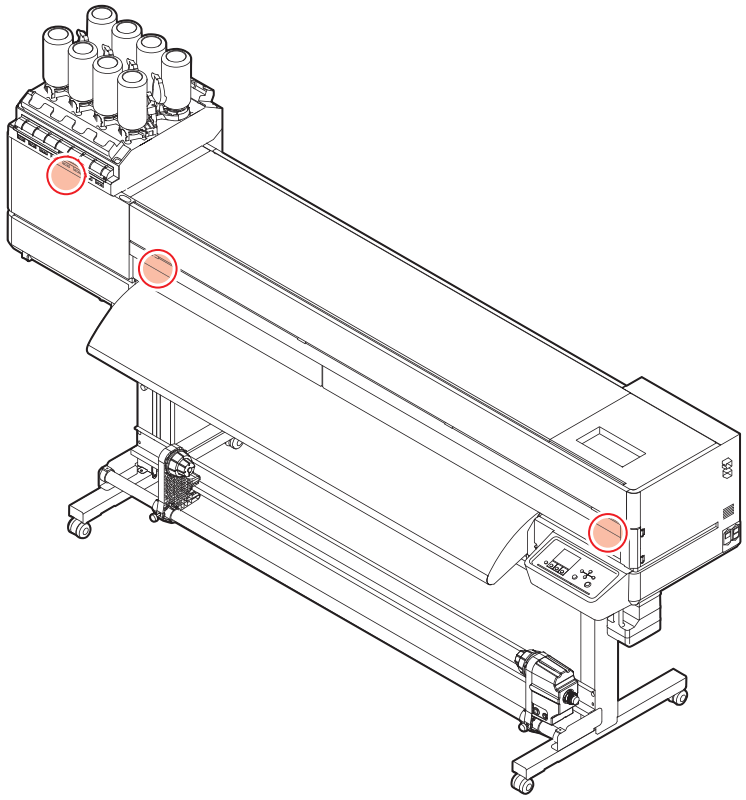
本機を移設したいとき

販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。
プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

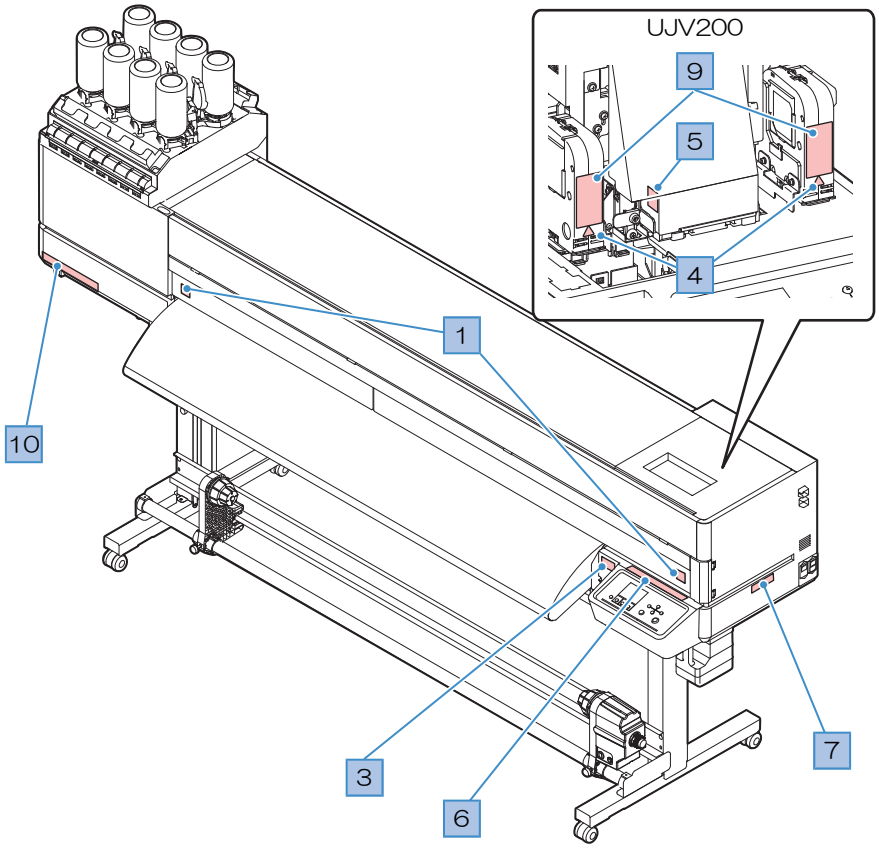
- インターロック設置場所

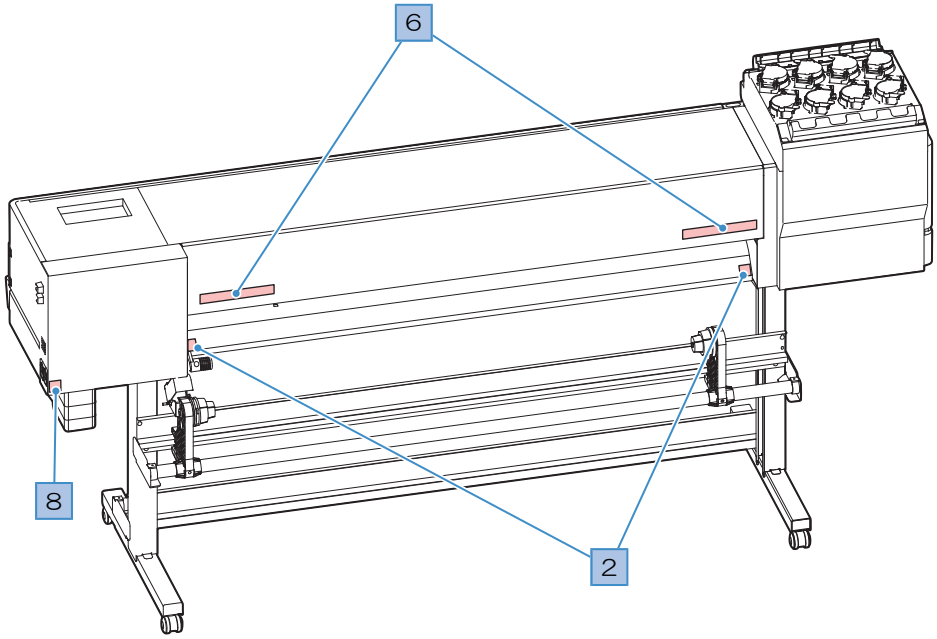


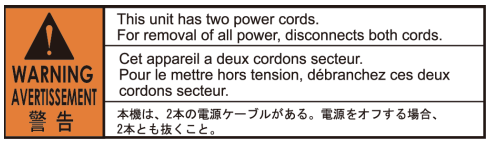
警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。





No.	注文番号	ラベル	内容
1	M907833		危険な可動部を示しています。 電源を入れたまま手を入れると可動部にぶつけてけがをする恐れがあるので注意してください。
2	M903239		高温部を示しています。 ヒーター通電中はやけどの恐れがあるため触れないでください。 • プリヒーター
3	M903330		インクが付着する恐れがあるため作業中に保護メガネや手袋を着用してください。
4	M919855		高温部を示しています。 ヒーター通電中はやけどの恐れがあるため触れないでください。 • ヘッドユニット • UVユニット（右、左）
5	M903405		けがの恐れがあるためカッターに注意してください。
6	M905811		危険な可動部を示しています。 電源を入れたまま触れるとケガをする恐れがあるので注意してください。
7	M916035		電源ケーブルについて説明しています。 安全の為注記を守ってください。
8	M907935		危険な電圧部を示しています。 感電の恐れがあるため通電中は触れないでください。
9	M920199		紫外線に注意してください。 装置内に紫外線の照射装置があるので注意してください。

No.	注文番号	ラベル	内容
10	PA001-S		カバーを開けるときは、カバーの真下にいないように注意してください。カバーが接触し、ケガをするおそれがあります。

第 1 章　ご使用の前に



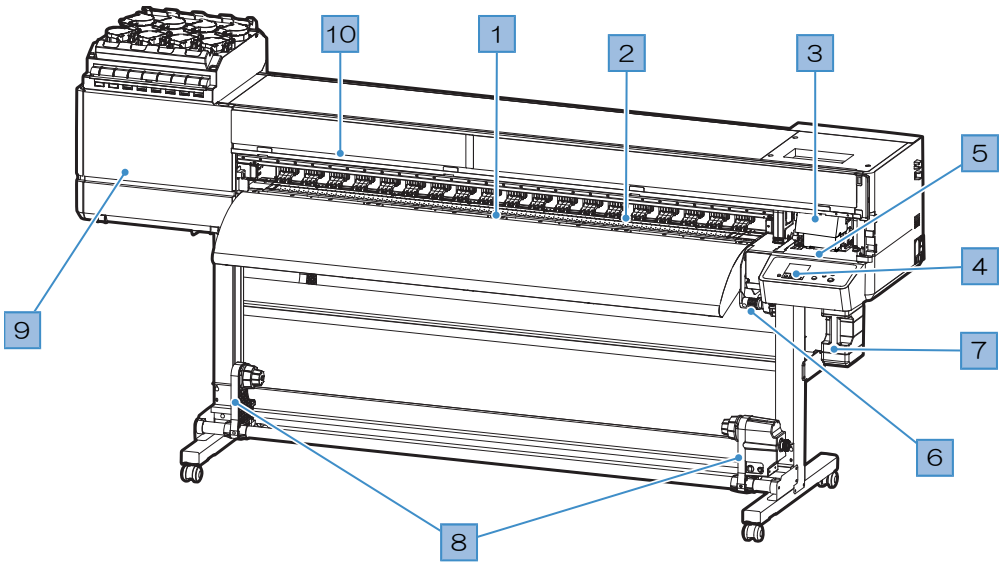
この章では...

各部の名称など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....22
　正面 22
　背面/右側面 23
　キャリッジ 24
　ステーション..... 24
　プラテン..... 24
　ピンチローラーとグリットローラー..... 25
　メディアセンサー 25
　電源スイッチ..... 26
　操作パネル 27
電源ケーブルを接続する.....30
　電源を入れる..... 30
　電源を切る 31
本機とコンピューターを接続する 33
　LANケーブルを使う.....33
　USBケーブルを使う 34
システム構成.....35
　Mimakiドライバーをインストールする 36
　RIP用ソフトウェアをインストールする 36
　カラープロファイルを入手する.....36
　RIP用ソフトウェアを準備する.....36
インクの交換方法.....38
　インク残量をお知らせするメッセージ.....38
　インクを交換する 39

1.1 各部の名称とはたらき

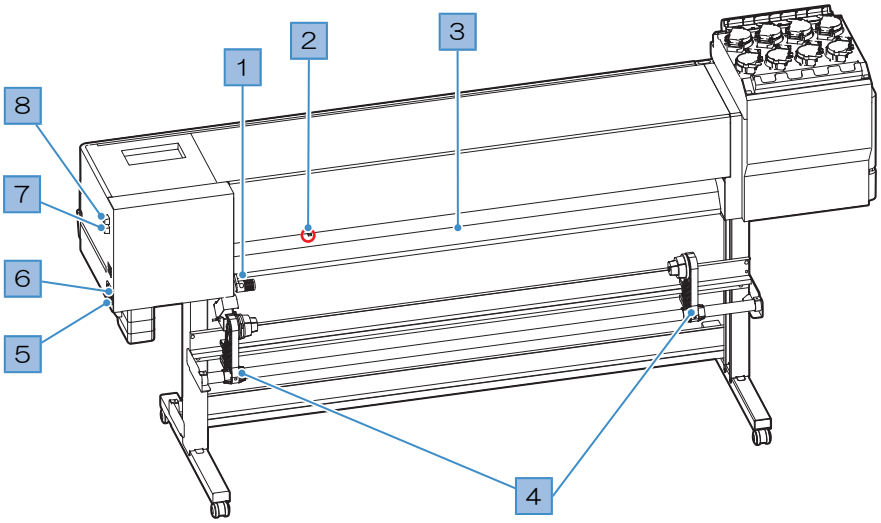
正面



開閉カバーが開いた状態

No.	名称	概要
1	プラテン	プリントするエリアです。☞「プラテン」（P. 24）
2	ピンチローラー グリットローラー	ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。☞「ピンチローラーとグリットローラー」（P. 25）
3	キャリッジ	プリントヘッドやジャムセンサー、メディア裁断カッターなどで構成されています。☞「キャリッジ」（P. 24）
4	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞「操作パネル」（P. 27）
5	ステーション	プリントヘッドを保護するキャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCU（オプション）などで構成されています。☞「ステーション」（P. 24）
6	クランプレバー	クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げるとメディアが開放されます。背面にあるクランプレバーと連動しています。
7	廃インクタンク	廃インクを溜める容器が入っています。☞「廃インクタンクの交換」（P. 117）
8	巻き取りユニット	プリントされたロールメディアを巻き取ります。☞「巻き取りユニット」（P. 51）
9	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面などをメンテナンスします。メンテナンス時以外は、カバーは閉じてください。
10	開閉カバー	カバーを開けて、メディアをセットしたり、プラテン周辺のメンテナンスをしたり、消耗品の交換をしたりします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。

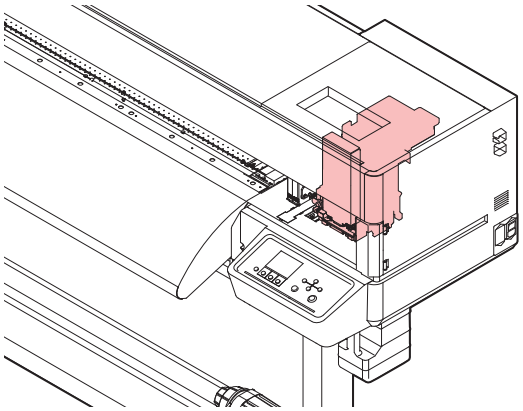
背面/右側面



No.	名称	概要
1	クランプレバー	前面にあるクランプレバーと連動しています。
2	メディアセンサー	メディアの有無を感知しています。☞「メディアセンサー」（P. 25）
3	プリヒーター	プリントする前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します。メディアの種類に合わせて、設定温度を変更してください。☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 62）
4	繰り出しユニット	2インチと3インチの紙管に対応しています。☞「ロールメディアをセットする」（P. 55）
5	ACインレット	背面側が本機のインレット（INLET1）、正面側がヒーター用のインレット（INLET2）です。付属されている電源ケーブルを使用してください。☞「電源ケーブルを接続する」（P. 30）
6	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞「電源スイッチ」（P. 26）☞「電源を入れる」（P. 30）☞「電源を切る」（P. 31）
7	LANポート	LANケーブルでコンピューターと接続します。☞「LANケーブルを使う」（P. 33）
8	USBポート	USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。☞「USBケーブルを使う」（P. 34）

キャリッジ

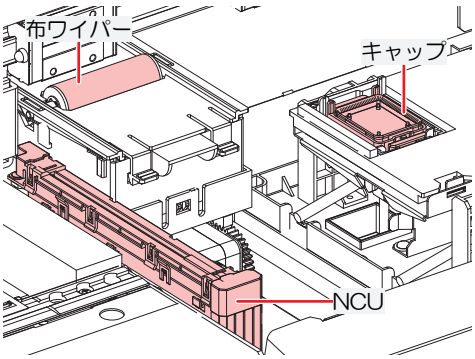
キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッドとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。



ステーション

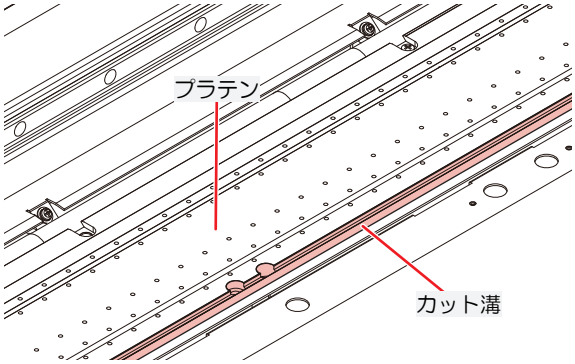
ステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCU（オプション）などで構成されています。

NCU（Nozzle Check Unit）は、ノズル詰まりがあるかどうかを自動でチェックするユニットです。各種機能を設定すれば、プリントヘッドの自動クリーニングや別のノズルを使ってプリントさせることができます。（NCUはオプションです。）



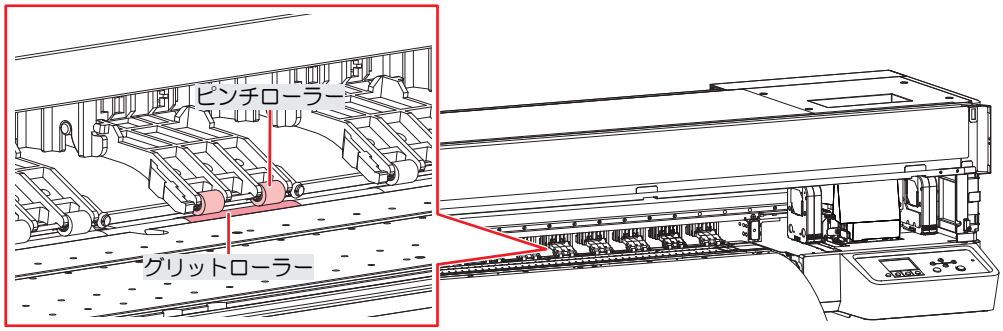
プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。またメディアを裁断するカット溝があります。



ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。

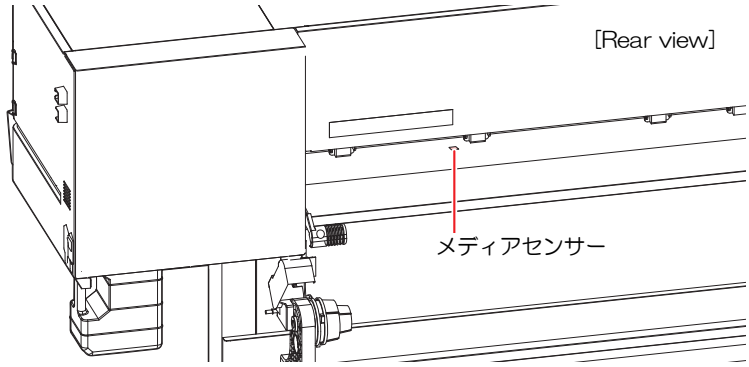


本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

メディアセンサー

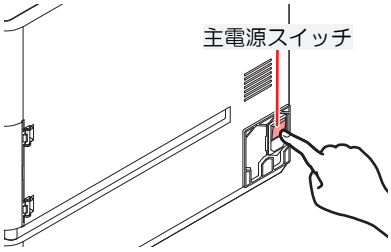
メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディア幅を検出することができます。



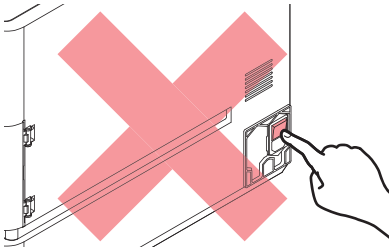
電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面奥側にあります。



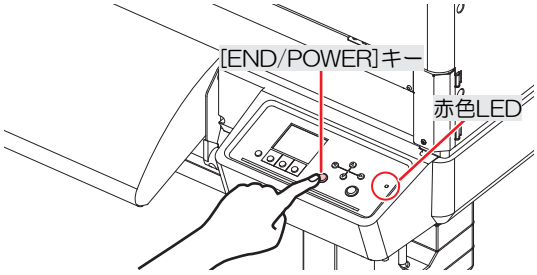
- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



● [END/POWER]キー

通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。

電源を切るとは、[END/POWER]キーを長押しします。ディスプレイに案内が表示されたら、[ENTER]キーを押します。

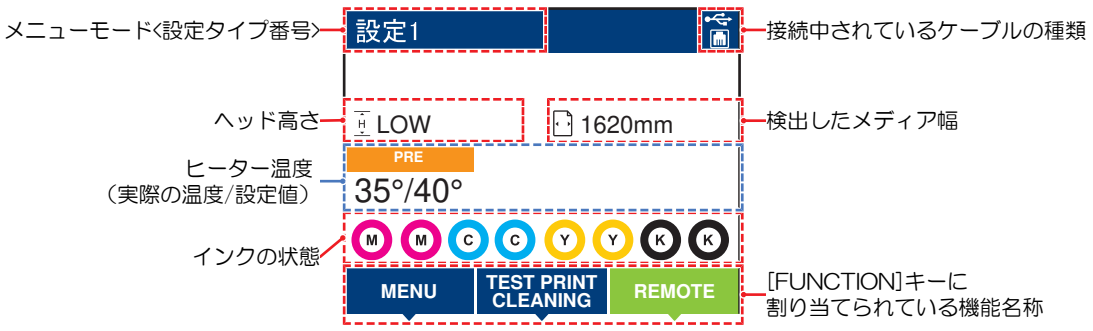


操作パネル

設定や各種操作をすることができます。

No.	名称	概要		
1	ディスプレイ	☞「ディスプレイ」（P. 28）		
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。		
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。☞「[FUNCTION]キー」（P. 29）		
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。		
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 • 電源がオンのときは、青色に点灯しています。☞「電源を入れる」（P. 30） • 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。☞「電源を切る」（P. 31）		
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 29）		
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。		
		消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。
		水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。
			点滅	プリント実行中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。
		青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。
		緑色	点滅	自動メンテナンスを実行中です。メンテナンスが終わるまで、一部機能が制限されます。
		黄色	点滅	インクニアエンド（インク残量が残りわずか）の状態です。☞「インクニアエンドが表示されたとき」（P. 38）
		赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞「エラーメッセージ」（P. 133）
			点灯	システムエラー（SYSTEM HALT）が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞「SYSTEM HALT」（P. 140）
8	LED	電源ON時、[END/POWER]キーをLEDが点灯するまで押し、点灯後に離してください。		

ディスプレイ



● ヒーター温度について

ヒーターの状態を色によって識別することができます。

- 橙色：設定温度に制御中です。
- 緑色：設定温度に達した状態です。
- 灰色：ヒーターがオフに設定されています。

メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクパックの状態がアイコンで表示されます。

<table>
<tr><th>アイコン</th><th colspan="8">概要</th></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td colspan="8">インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>フル</td><td>1/8消費</td><td>1/4消費</td><td>3/8消費</td><td>1/2消費</td><td>5/8消費</td><td>3/4消費</td><td>7/8消費</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="8">インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを準備してください。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="8">プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。☞「インクエラー」（P. 132）</td></tr>
</table>

[FUNCTION]キー

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
MENU	各種メニュー画面を表示します。☞「各種設定」（P. 79）
TEST PRINT CLEANING	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
REMOTE	ローカルモードからリモートモードに移行します。
ADJUST	自動補正、フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
HEATER	ヒーターの温度設定画面を表示します。
DATA CLEAR	受信データをクリアします。
LOCAL	リモートモードからローカルモードに移行します。
CUT	メディアを裁断したいときに使用します。
<<	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
>>	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
OK	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
OFF	各種機能を無効にします。
↓	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
✓	複数ある項目の有効/ 無効を切り替えます。

本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

- インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。
- ノズルチェック：ノズルチェックで検出したノズル詰まりしているノズル数が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

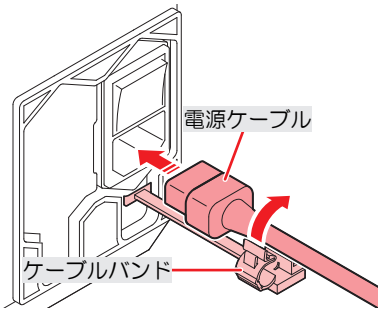
1 主電源が切れているかどうかを確認する。

2 本機にケーブルバンドを接続する。

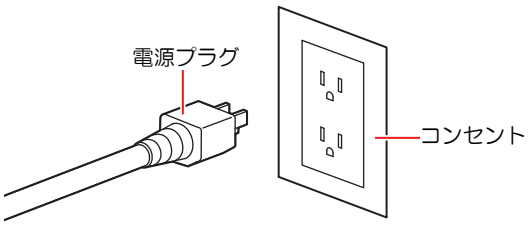
3 本機のインレットに電源ケーブルを接続する。

4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。

- クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



5 コンセントに電源プラグを接続する。

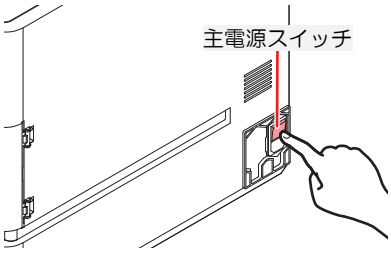


- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

電源を入れる

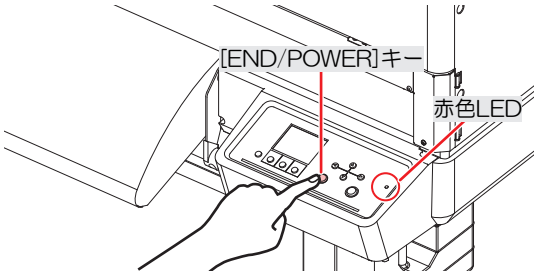
1 主電源が入っているかどうかを確認する。

- 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 **[END/POWER]キーを長押しして、電源を入れる。（右上部の赤色LEDが点灯するまで押してください。）**

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、メディア選択モードになって本機を使用することができます。



3 **接続しているコンピューターの電源を入れる。**

- メンテナンスカバーと開閉カバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

電源を切る

- 電源を切るときは、以下を確認してください。
  (1) メンテナンスカバーと開閉カバーが閉じていること。
  - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。

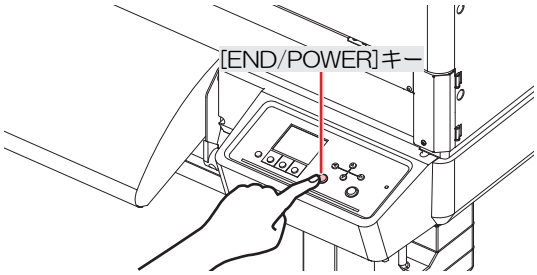
  (2) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
  - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

  (3) データを受信していないこと。
  (4) エラーが発生していないこと。
  - ☞「メッセージを表示するトラブル」（P. 129）

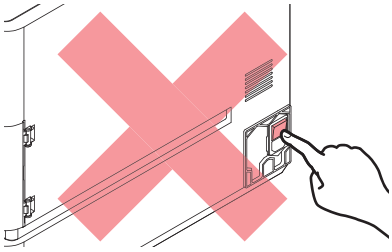
1 **接続しているコンピューターの電源を切る。**

2 **[END/POWER]キーを長押しする。**

- 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

本機とRIP用コンピューターを接続してください。以下のケーブルを使用することができます。

1. 「LANケーブルを使う」（P. 33）（推奨）
2. 「USBケーブルを使う」（P. 34）

重要！ **USBケーブルを使用した場合**

- 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

LANケーブルを使う

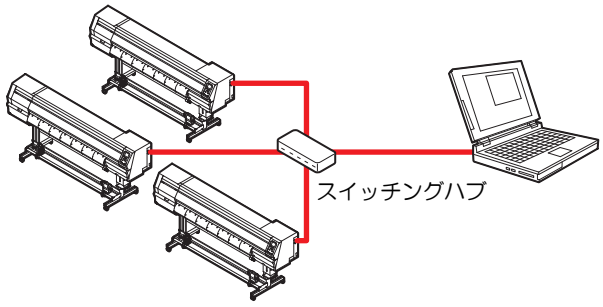
LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。

- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- カテゴリー6または、カテゴリー6AのLANケーブルを使用してください。
- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



● LAN接続確認方法

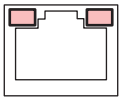
1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 29）“100Mbps”、“10Mbps”、“ 接続なし”表示されている場合は、プリントすることができません。



2 LANコネクターのランプを確認する。

- 本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 • 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

USBケーブルを使う

USBインターフェイスケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。



• データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。



• USBインターフェイスに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。



• コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

重要！ **USBケーブルを使用した場合**

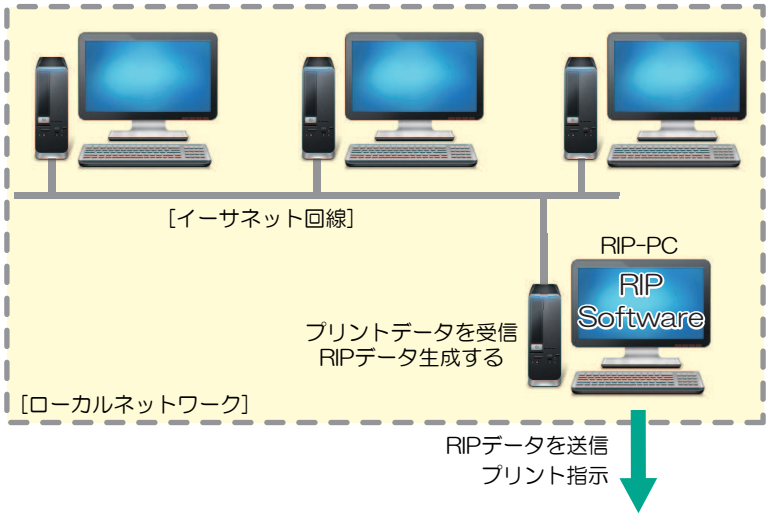
• 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中に<u>キャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります</u>。

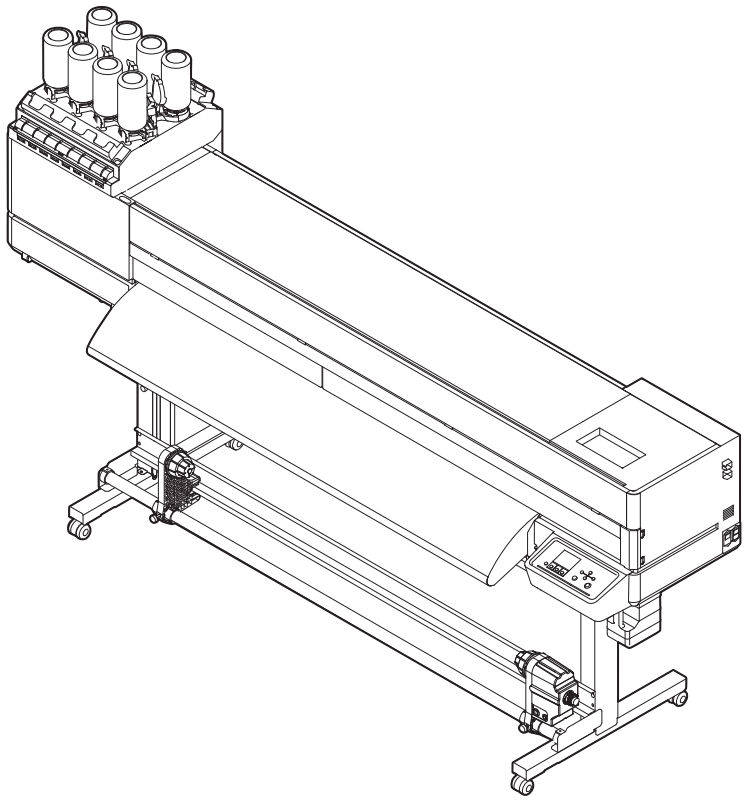
● USB接続についての注意事項

• 1台のコンピューターに複数のUJV200を接続する場合
  – 複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを挿し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。
• USBケーブルを延長する場合
  – 市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。
  – USBケーブルを延長した場合、本機へのデータ転送速度が低下して、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止する原因になります。
• USBハイスピードモードの周辺機器について
  – 本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器 （USB メモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けの USB ハードディスクドライブなどを接続すると、本機へのデータ転送速度が低下して、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止する原因になります。
• USBメモリーの抜き方
  – 本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。





Mimakiドライバーをインストールする

1 **弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。**

- https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [（例：UJV200-160）]> [ドライバ/ユーティリティ]

2 **MIMAKIドライバーをインストールする。**

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 **“RasterLink”をインストールする。**

- インストールされている場合は、コンピューター のデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。"プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを入手する

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

- RasterLinkシリーズではインターネットから直接カラープロファイルをダウンロードして、インストールする機能を提供しています。詳しくはRasterLinkシリーズのインストールガイド「プロファイルのインストール」をご覧ください。
  https://japan.mimaki.com/download/software.html
  [ご使用のRasterLinkシリーズ] > [マニュアル]
- 弊社ウェブサイトでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）のカラープロファイルを提供しています。
  https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [（例：UJV200-160）] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 **“RasterLink”を起動する。**

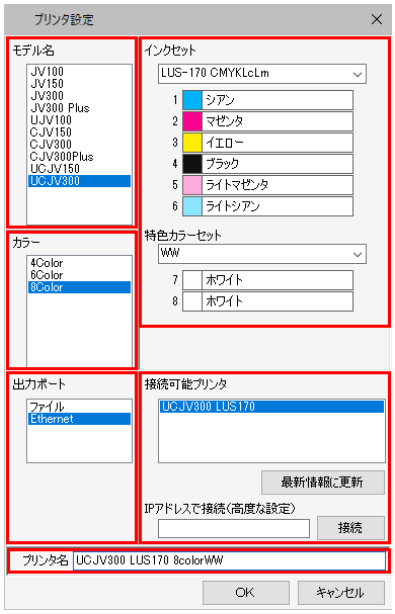
- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動したあとに、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 機種名（例：UJV200-160）を登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) 本機の情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
- カラー：充填されているインクセットを選択
- 出力ポート：接続しているケーブルを選択
- 接続可能プリンタ：接続しているUJV200-160を選択
- プリンタ名：任意の名称を入力

(3) [OK]をクリックする。

- 確認画面が表示されます。

(4) [はい]をクリックする。

- プリンターの登録が開始されます。

- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

1.5 インクの交換方法

インク残量をお知らせするメッセージ

インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りわずかになっています。インクボトル内のインクは空になっているので、早めに新しいインクボトルに交換することをお勧めします。プリントすることはできますが、連続プリントや引き戻し印刷が中断されたり、クリーニングなどの一部のメンテナンス機能が無効になります。またプリントの途中でインクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクカラーを確認することができます。
☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 29）

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクボトルに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクボトルを交換してください。
☞「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」（P. 11）

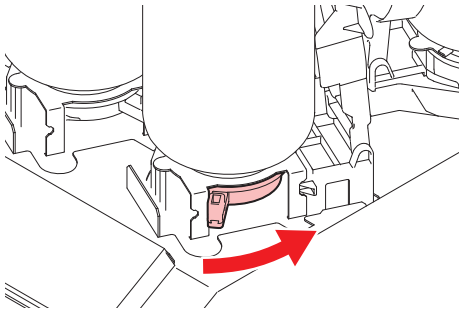


- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

インクを交換する

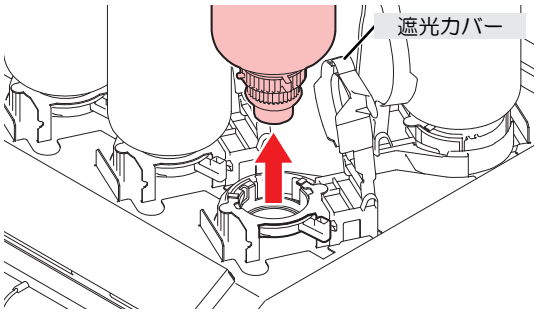
● インクボトルを外す

1 タンク部のレバーを左から右端まで回す。



- インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

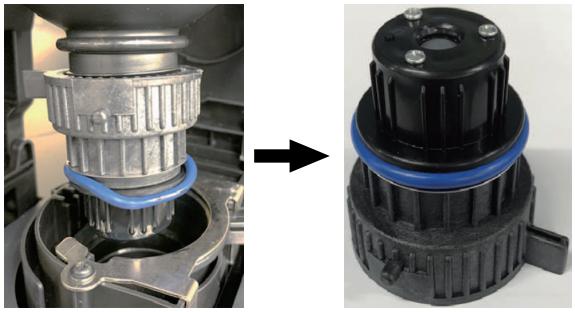
2 インクボトルを垂直に持ち上げる。



- インクボトルを外したときに、遮光カバーが閉まっていることを確認してください。遮光カバーが開いているときは手で閉めてください。遮光カバーを開いたまま放置するとインクが硬化して、故障の原因になります。
- インクボトルからのインク漏れに注意してください。

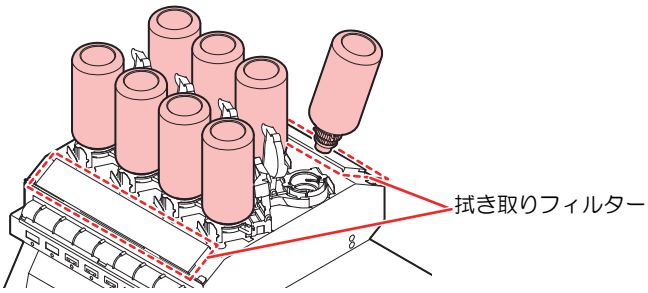
重要!

- インクボトルを外したときに、ボトルキャップに付いているOリングが外れてしまうことがあります。Oリングが外れてしまったときは、元の状態に戻してください。



3 ボトルキャップに付着しているインク滴を吸い取る。

- インク滴がたれない程度に拭き取りフィルターを使って吸い取ります。



4 ボトルキャップに付着しているインクを推奨の不織布で拭き取る。

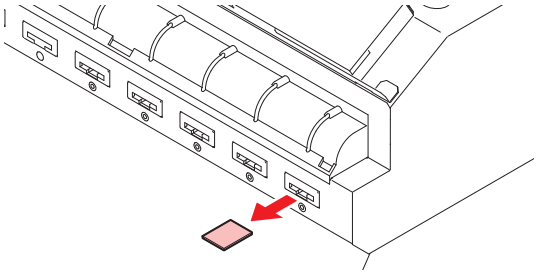


- ボトルキャップに不織布の欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まって、インクが漏れてしまう原因になります。

5 インクボトルからボトルキャップを外す。

- ボトルキャップが外しづらいときは、締め付け治具を使って取り外してください。

6 インクICチップを外す。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

● インクボトルを準備する

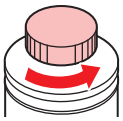
1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



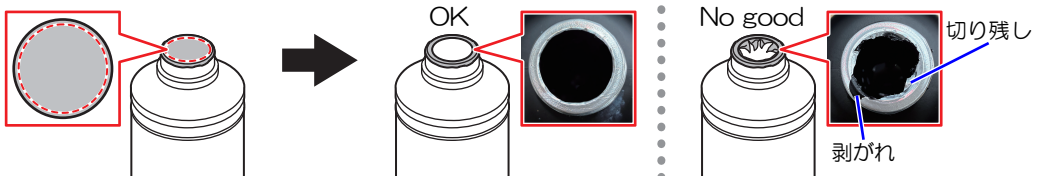
- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

2 インクボトルのフタを外す。



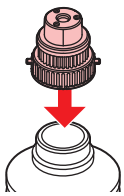
重要! インクボトルの口元にシールが付いている場合

- カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。

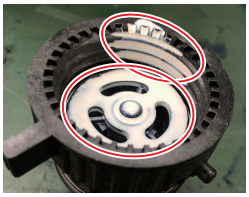


- インクボトルの口元やシールの貼り付け部を傷付けないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるおそれがあります。
- シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、ボトルキャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。

3 インクボトルにボトルキャップをセットする。

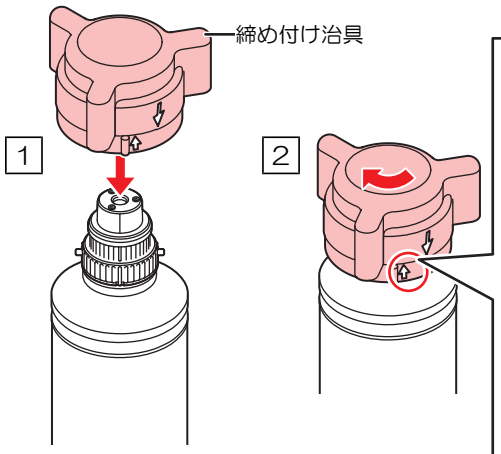


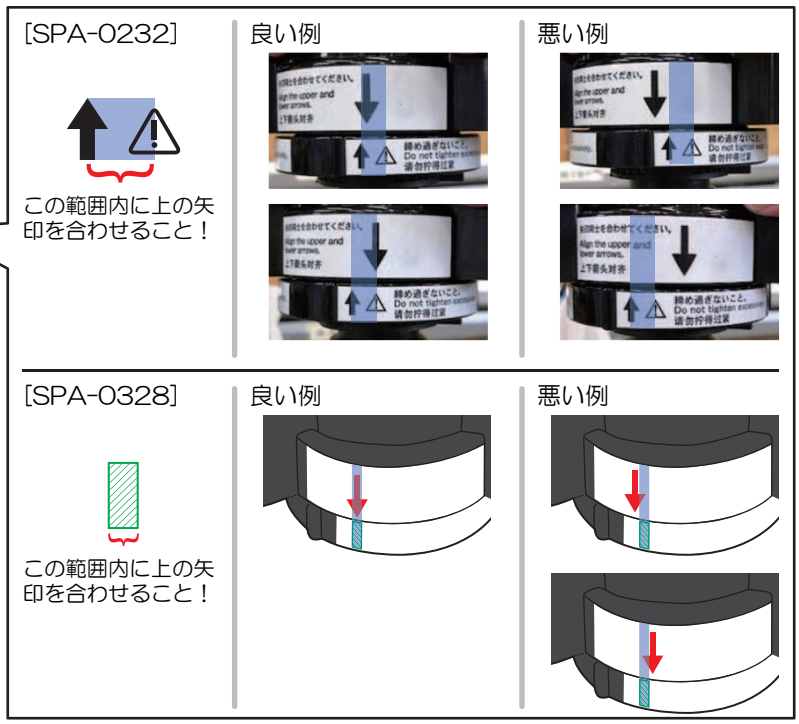
- インクボトルやボトルキャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、インクを拭き取ってください。ボトルキャップが空回りしてインクが漏れる原因になります。

- ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

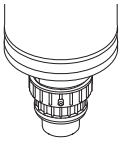
4 締め付け治具を使って、ボトルキャップを締める。





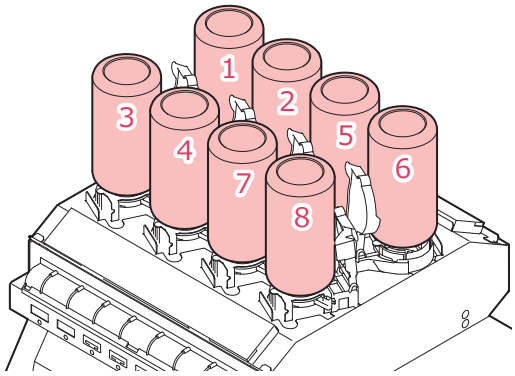
- ボトルキャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度ボトルキャップを緩めてから、やり直してください。
- ボトルキャップを取り付けたまま、インクボトルを長時間放置しないでください。インクが硬化してしまう原因になります。

5 インクボトルを逆さにして、インクが漏れないかどうかを確認する。



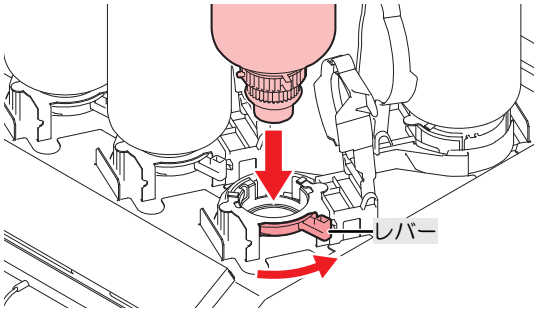
● インクボトルをセットする

お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクボトルを挿し込んでください。



1 インクボトルをセットする。

- レバーを左から右端まで回してから、インクボトルをセットしてください。



- ボトルキャップのOリングにメンテナンス液を塗布すると、インクボトルが入りやすくなります。メンテナンス液は使用中のインクに対応したものを使用してください。



2 右から左端までレバーを回して固定する。

- インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

- 一度セットしたインクは使い切ってください。

重要!

- インクボトルのセット後、ボトル交換に関するエラー解消までに時間がかかる場合があります。2分程度待ってもエラー解消しない場合は、インクボトルのセットをやりなおしてください。

第 2 章 プリントしてみる



この章では...

プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントの流れ 46
プリントヘッドの高さを調整する.....49
メディアをセットする.....50
　メディアについて 50
　巻き取りユニット 51
　繰り出しユニット 53
　ロールメディアをセットする 55
　メディアを登録する..... 60
ヒーターの温度を設定する 62
テストプリントをする.....63
　テストプリントの配置方向を変更する..... 63
　ホワイトインクの吐出を確認する 64
　吐出不良について 64
ヘッドクリーニングをする 65
自動補正をする 66
フィード補正をする.....67
　フィード補正の手順.....67
ドット位置補正をする 69
　ドット位置補正の手順 69
RIPデータを準備する.....71
プリントする.....73
　原点を変更する.....73
　プリントを開始する.....74
　プリントを中止する（データクリア） 75
引き戻し印刷について 76
　トンボ付きの引き戻し印刷をする場合.....76
　トンボ検出に失敗した場合 77
メディアを裁断する 78

2.1 プリントの流れ

1. 本機の電源を入れる

☞「電源を入れる」（P. 30）

2. RIP用コンピューターと本機を接続する

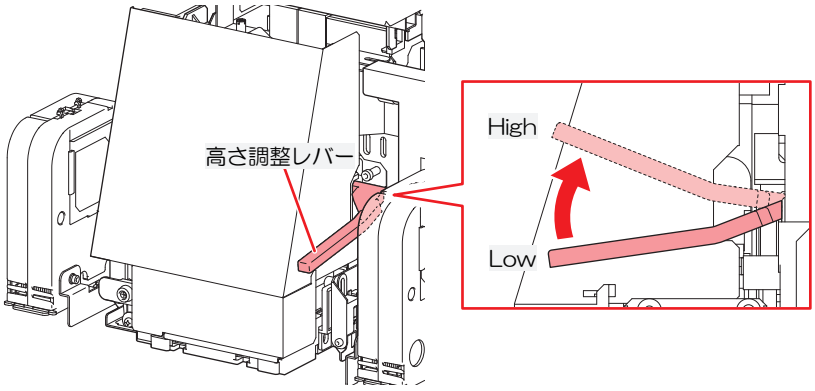
☞「USBケーブルを使う」（P. 34）
☞「LANケーブルを使う」（P. 33）

3. RIP用ソフトウェアを準備する

☞「RIP用ソフトウェアをインストールする」（P. 36）（初回のみ）
☞「カラープロファイルを入手する」（P. 36）
☞「RIP用ソフトウェアを準備する」（P. 36）（初回のみ）

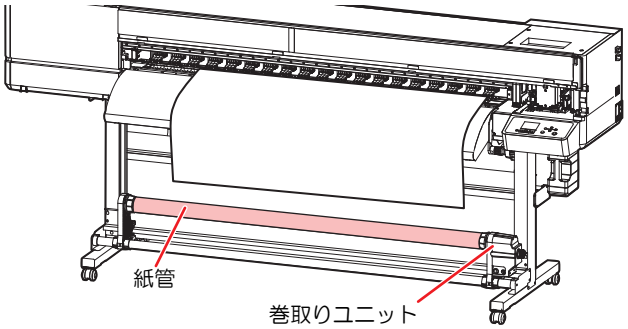
4. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。
☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49）



5. メディアをセットする

ロールメディアとリーフメディアを使用できます。☞「メディアをセットする」（P. 50）

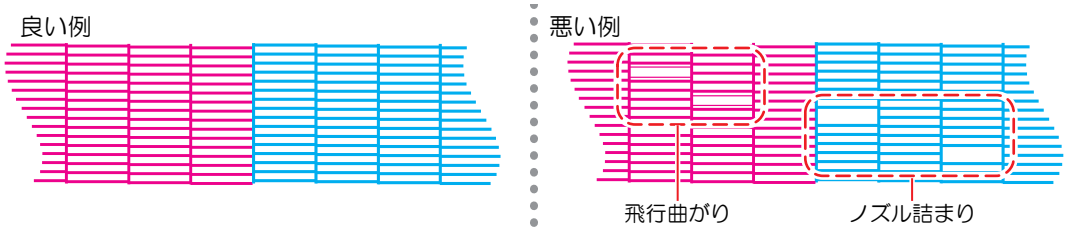


6. ヒーターの温度を設定する

☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 62）

7. プリントヘッドのノズルの状態を確認する

☞「テストプリントをする」（P. 63）



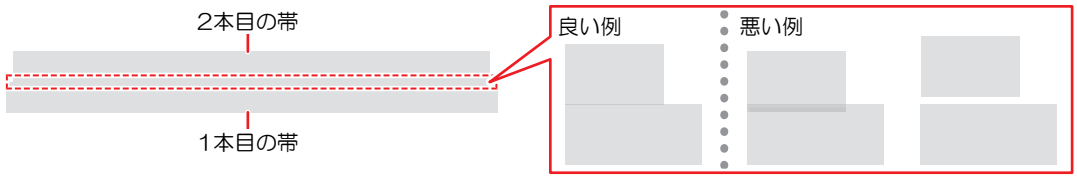
8. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、3種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 65）

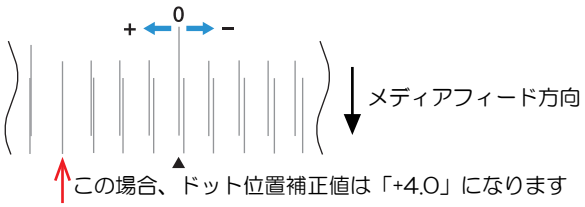
9. メディアの送り量を調整する

☞「フィード補正をする」（P. 67）



10. 双方向プリントするときは、ドット位置を調整する

☞「ドット位置補正をする」（P. 69）



11. RIPデータを準備する

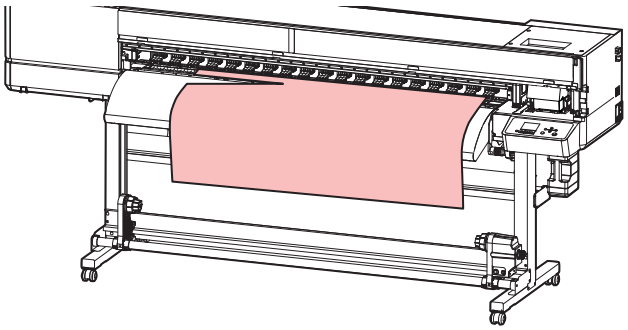
☞「RIPデータを準備する」（P. 71）

12. RIPデータをプリントする

☞「プリントする」（P. 73）

13. メディアを裁断する

☞「メディアを裁断する」（P. 78）



2.2 プリントヘッドの高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

レンジ	プリントヘッドとプラテンの距離
Low（推奨）	1.5 mm（初期設定）
High	2.0 mm

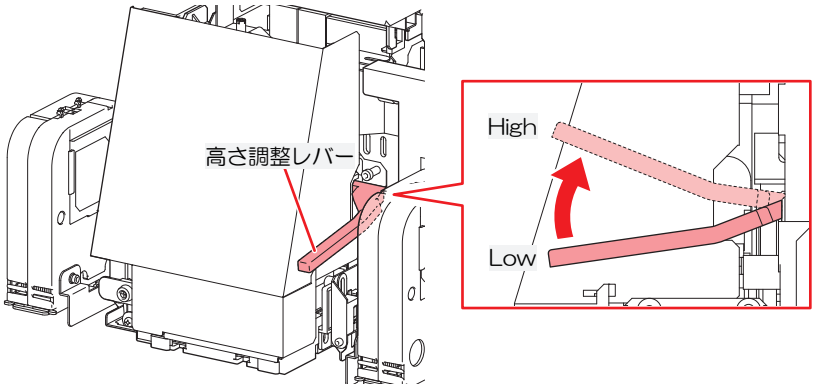
- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。
☞「ドット位置補正をする」（P. 69）

重要！
- インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまう傾向があります。ミスト化したインクがプリントヘッドのノズル面やメディアに付着してプリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。プリントヘッドの高さはメディアに合わせて調整してください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [ヘッド高さ切り替え]を選択して、[ENTER]キーを押す。**
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **高さ調整レバーで高さを変更する。**
- 設定したい高さになるように調整レバーを変更してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。



4 **[ENTER]キーを押す。**

5 **画面上でLOW/HIGHを選択し、[ENTER]キーを押す。**

2.3 メディアをセットする

- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意

- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警 告

- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。メディアの重みで腰を痛めてしまうおそれがあります。

注 記

- ホコリが付着しないように保管してください。プリント品質が低下する原因になります。
- 定型サイズ紙をまるめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してください。

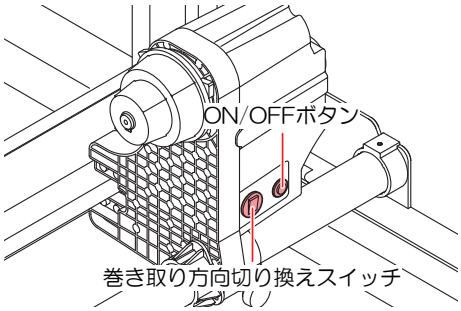
- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、30分以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

重要!

- プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

巻き取りユニット

巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。

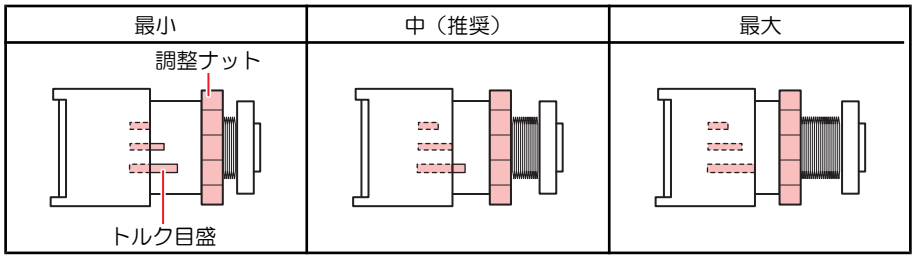


名称	概要	
方向切り換えスイッチ	上	プリント面を内側にして巻き取りたいとき。
	下	プリント面を外側にして巻き取りたいとき。
ON/OFF ボタン	ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転/停止を繰り返します。ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転するように設定できます。☞「機能設定メニュー」（P. 87）	

トルクリミッターを調節する

巻き取りユニット（左右）には、トルクリミッターが付いています。

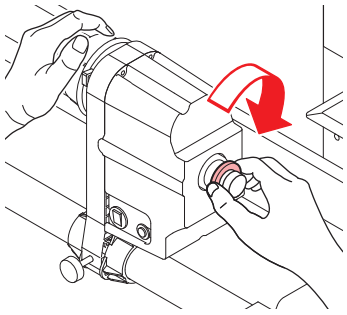
トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。変更する場合は、**必ず左右の巻き取りユニットのトルクを同じ強さに調節してください。**



- 通常プリントの場合：トルクは“中”に調節してください。
- メディアによっては、トルクを強くするとピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえることができず、画質不良の原因になります。メディアが滑ってしまうときは、トルクを弱くしてください。

● テンションを強くする（時計回り）

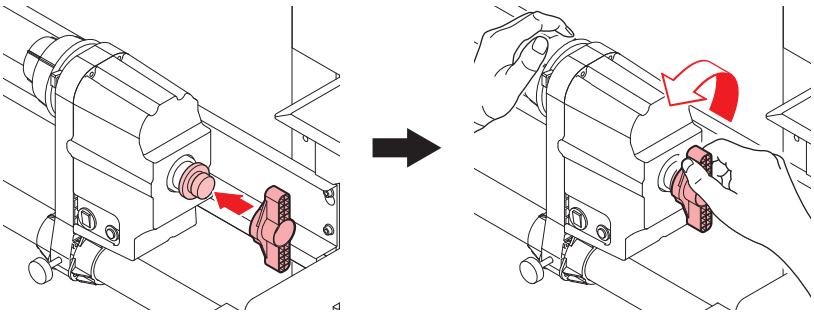
ターポリン等の重量のある厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



- トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎる原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

● テンションを弱くする（反時計回り）

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の"トルク調整ハンドル”を使って調整します。



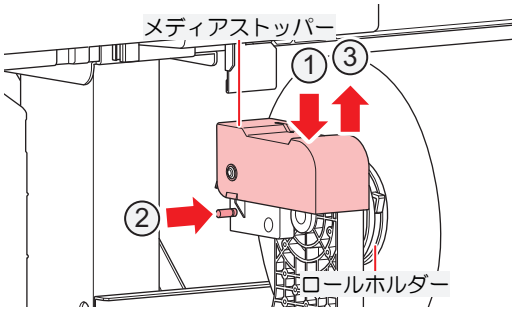
繰り出しユニット

メディアストッパーの使い方

手動でメディアを一定の長さを引き出すと、ロールホルダーがロックされて、メディアの引き出しを停止します。

● メディアストッパーをロックする

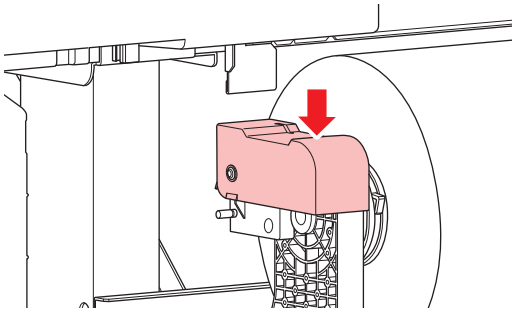
メディアストッパーを押しながら、横のピンを押します。その状態でメディアストッパーを離すと、ロールホルダーがロックされます。



- ロールメディアをセットするときやプリントするときは、必ずメディアストッパーをロックしてください。

● メディアストッパーを解除する

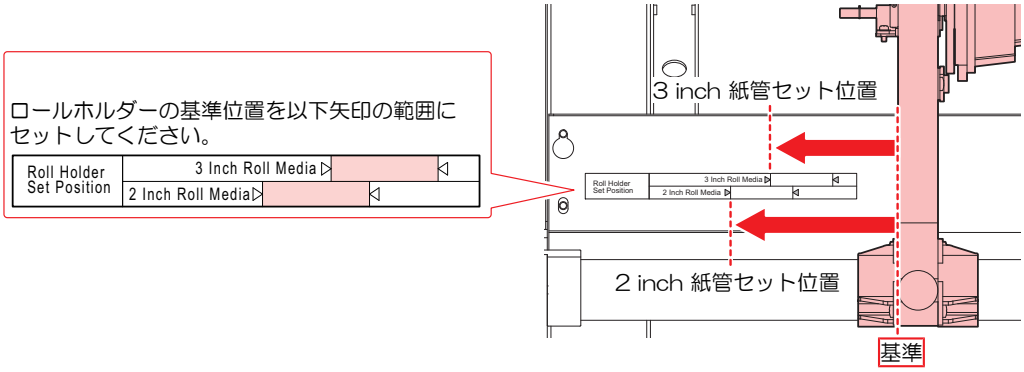
メディアストッパーを押すと、ロールホルダーが解除されます。



ロールホルダーのセット位置

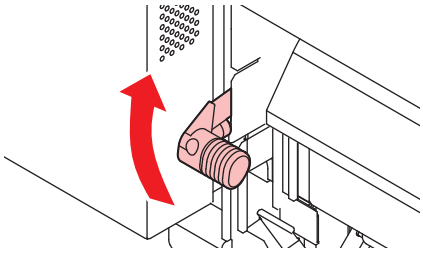
背面左側のロールホルダーのツマミネジを緩めて、移動してください。

脚ステーにロールホルダーセット位置銘版が貼ってあります。銘版を目安にロールホルダーを移動して、ツマミネジで固定してください。



ロールメディアをセットする

1 クランプレバーを上げる。

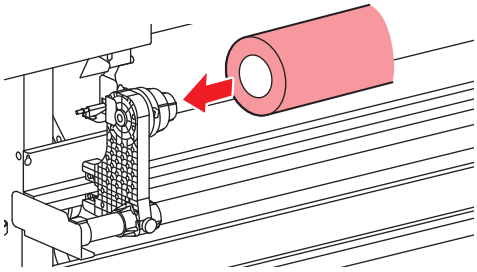


2 背面左側のロールホルダーをロールセット位置へ移動する。

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させて、固定ネジを締めてください。
「ロールホルダーのセット位置」（P. 54）

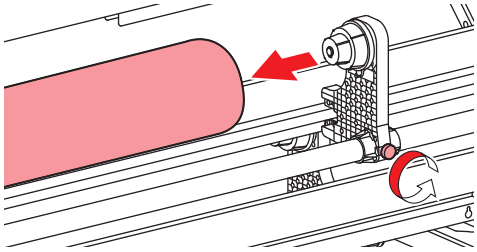
3 背面左側のロールホルダーにロールメディアの紙管を挿し込む。

- 紙管が動かなくなるまで、挿し込んでください。



4 背面右側のロールホルダーを紙管に挿し込む。

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させて、固定ネジを締めてください。

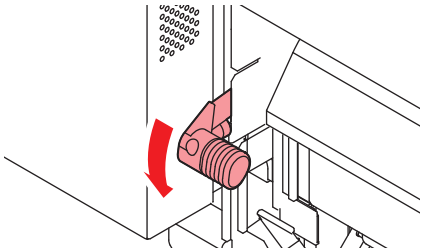


5 ピンチローラーとグリットローラーの間にメディアを挿し込む。

- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。

6 クランプレバーを下げる。

- ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。



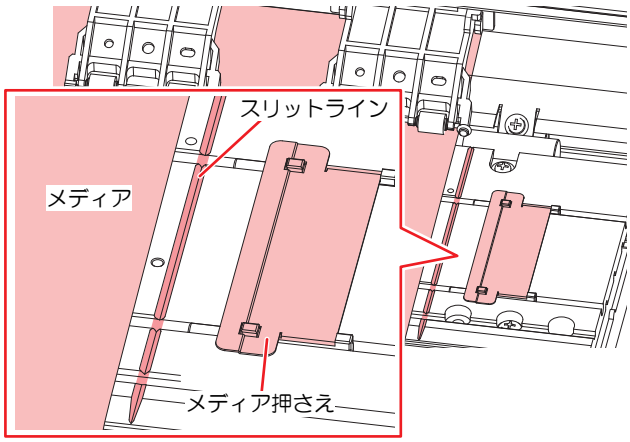
7 メディアストッパーをロックする。

- 「メディアストッパーの使い方」（P. 53）

8 本機正面に移動し、クランプレバーを上げて、メディアを引き出す。

- メディアを後方に落とさないようにしてください。

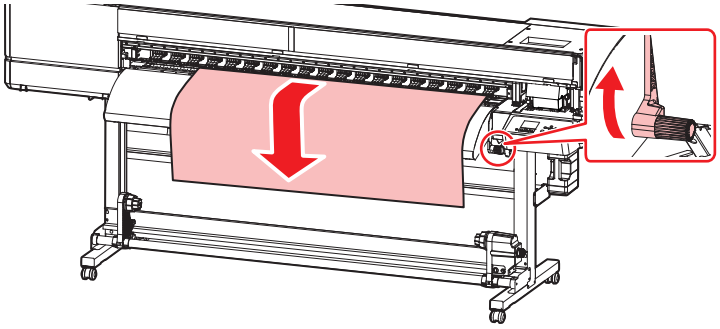
- プラテン右側のスリットラインがメディアに隠れないように、背面のロールホルダー位置を調整してください。メディアが斜行した場合、プリントヘッドが破損するおそれがあります。



- メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。

9 クランプレバーを上げる。

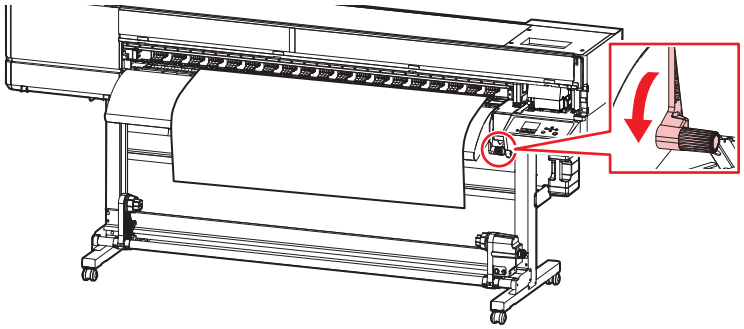
10 メディアを静かに引き出して、軽くロックのかかる位置で止める。



11 メディアの引き出し量を確認する。

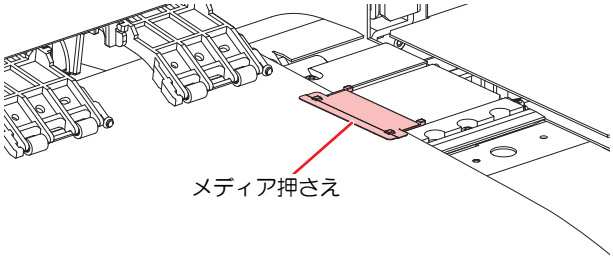
- メディア前端の数カ所を軽く引っ張り、メディアの引き出し量が均等になっていることを確認してください。

12 クランプレバーを下げる。

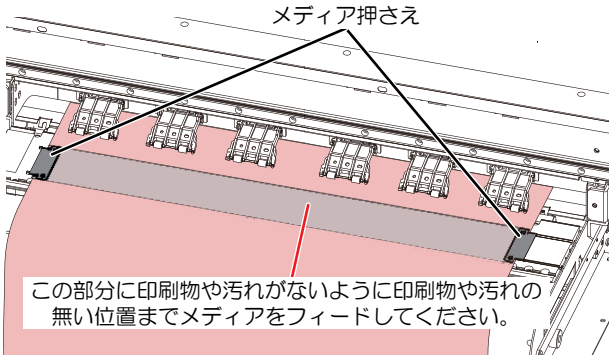


- クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。

13 メディア押さえでメディアをはさむ。



- 厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。ただし、メディア検出時は、メディア押さえを使用してください。
- プラテン上のメディアに印刷物や汚れがある状態でメディア検出を実行しないで下さい。メディア検出に失敗する原因になります。



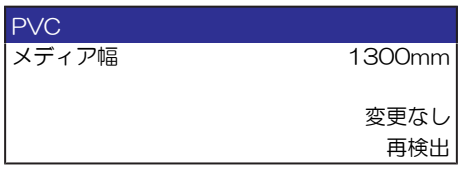
14 使用するメディアを選択する。

使用メディア選択	1/2
● PVC	1300 mm
○ ターポリン	1600 mm
○ 未登録	
○ 未登録	

- 登録していないメディアを使う場合は、[未登録]を選択して、メディアを登録します。
☞「メディアを登録する」（P. 60）

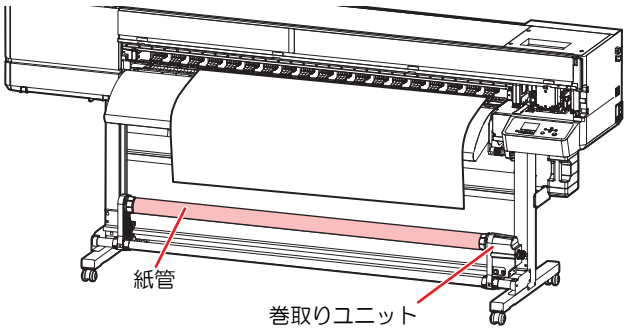
15 メディア幅を検出する。

- 変更なし：メディア押さえの右端のみ検出します。
- 再検出：メディア幅を検出します。



- メディアの色や種類によって、メディア幅が正しく検出できないことがあります。メディア幅が正しく検出できないときは、メディア幅の検出方法を“MANUAL”に設定してください。
- メディア幅の検出方法を“MANUAL”に設定した場合、手動でメディア幅を設定します（[MENU] > [メディア設定] > [メディア情報] > [メディア幅] > [検出方法] ☞ P. 80）。
- メディアが規定の位置より右に寄っている場合、メディア幅を検出したあと、ディスプレイに“ メディア イチミギスギマス” を表示してお知らせします。メディアを既定の位置にセットし直してください。
- メディア残量管理を“ON”に設定した場合、メディア長さ入力画面が表示されます（[MENU] > [メディア設定] > [メディア情報] > [メディア残量] > [メディア残量管理] ☞ P. 80）。

16 巻き取りユニットに空の紙管をセットする。

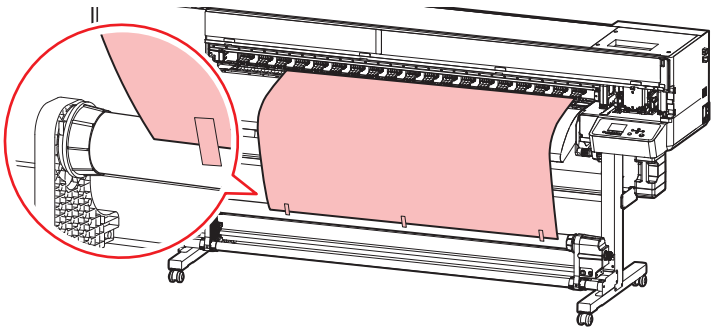


- コシの弱いメディア（ターポリンなど）を使用するときは、巻き取りユニットを使用してください。プラテン上でメディアが浮き上がって、プリントヘッドが破損するおそれがあります。

17 ▼を押して、巻き取りユニットの紙管に届くまでメディアをフィードさせたら、[ENTER]キーを押す。

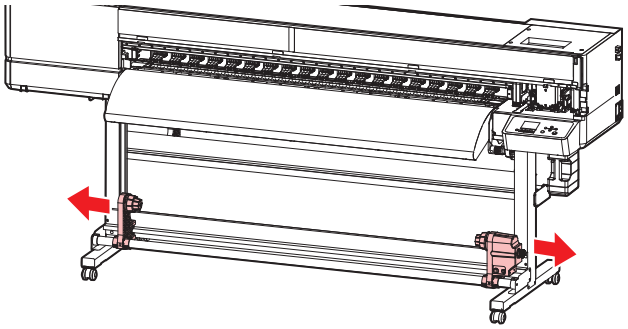
18 粘着テープを使って、紙管にメディアの中央を固定してから、左右も固定する。

- メディア下端を左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワがないことを確認してから、テープを貼ってください。



19 ▼を押して、紙管にメディアを1周半程度巻き付いたら、[ENTER]キーを押す。

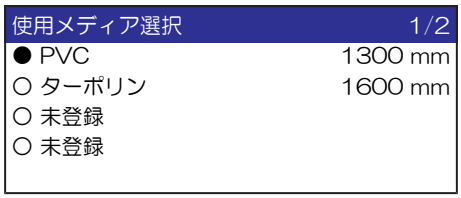
- 巻き取りユニットを使わないときは、巻き取りユニットを左右に退避させてください。メディアの前端が巻き取りユニットに触れた衝撃によって、プリント品質に影響がでるおそれがあります。



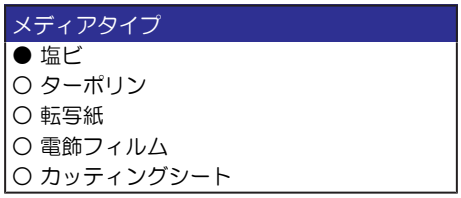
メディアを登録する

メディアがセットされているときにクランプレバーを下げると、[使用メディア選択]画面が表示されます。
本機に登録されていないメディアを使う場合は、メディアの登録が必要です。

1 [未登録]を選択する。

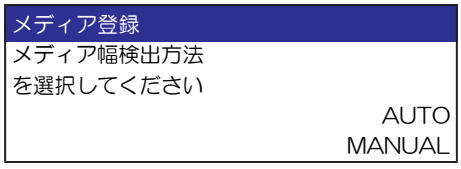


2 メディアの種類を選択する。



3 メディア幅の検出方法選択する。

- AUTO：自動でメディア幅を検出します。
- MANUAL：手動でメディア幅を設定します。

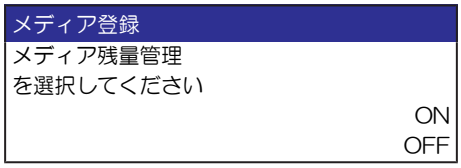




- メディアの色や種類によって、メディア幅が正しく検出できないことがあります。メディア幅が正しく検出できないときは、メディア幅の検出方法を“MANUAL”に設定してください。

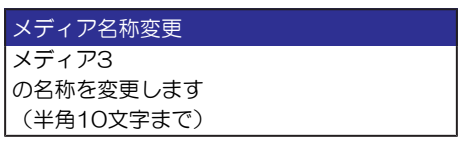
4 メディア残量管理方法を選択する。

- メディアの残量を本機で管理するかどうかを選択します。

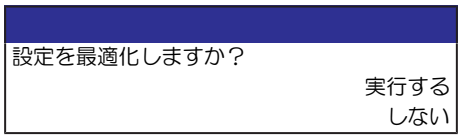


5 表示させたい名称を入力する。

- 登録しない場合は、[ENTER]キーを押してください。



6 設定した情報を登録するかどうかを選択します。





・ あとから変更することができます。☞「メディア設定メニュー」（P. 80）

2.4 ヒーターの温度を設定する

- お使いになるメディアの種類や特性に合わせて、ヒーターの温度を調整してください。種類によっては、メディアが伸縮したり、メディアが波打ったりしてしまうおそれがあります。

- RIP用ソフトウェアの温度設定が優先されます。弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）をお使いの場合、カラープロファイルに推奨値が保存されています。

名称	概要
PRE（プリヒーター）	プリントする前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します。

1 **ローカルモード画面から、[HEATER]を選択する。**

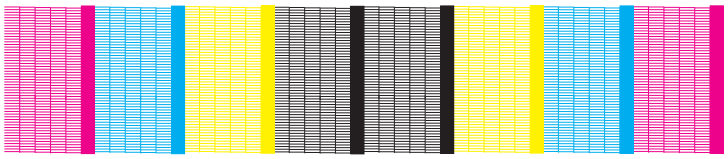
- ヒーター温度の設定画面が表示されます。

2 **ヒーターの温度を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- ヒーターの温度が設定値±3°Cに到達すると、プリントすることができます。

2.5 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 65）



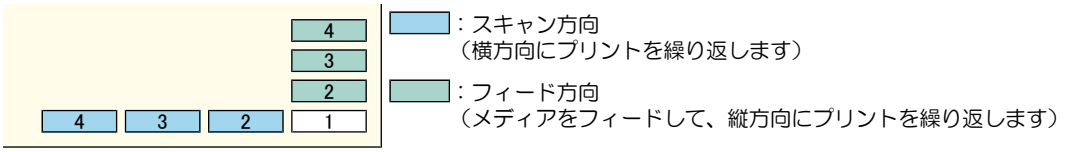
事前に確認してください
• プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49） • メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 50）

- 幅300mm以上のメディアをセットしてください。幅300mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。
  ノズルリカバリーは登録が必要です。☞「手動でノズルリカバリーを登録する」（P. 86）

テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。

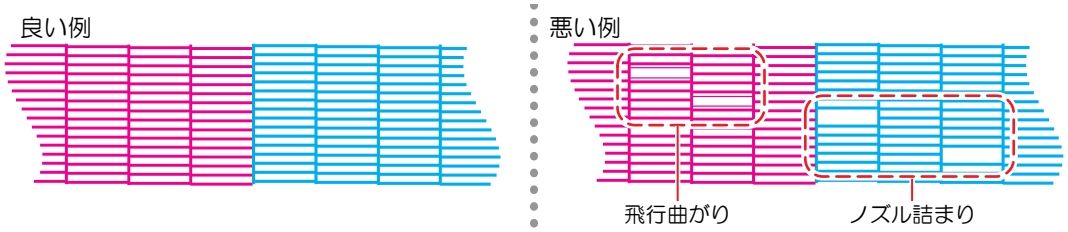


1 **ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- テストプリントメニューが表示されます。

2 **[スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- テストプリントを開始します。



3 **プリント結果を確認する。**

ホワイトインクの吐出を確認する

ホワイトインクを確認するときは、以下の2つの方法があります。

- 透明フィルムにプリントする。
- テストパターンの下地をブラックインクでプリントする。

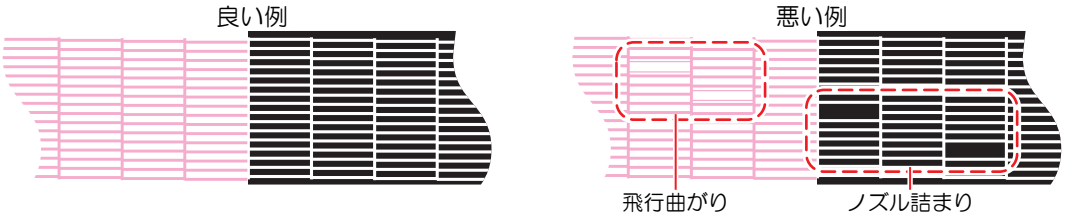
● 下地をブラックインクでプリントする方法

1 **ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- テストプリントメニューが表示されます。

2 **[特色確認]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

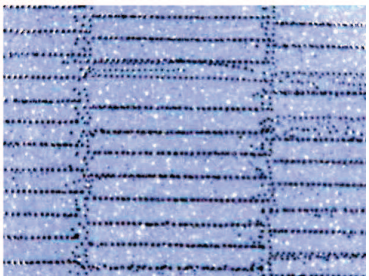
- テストプリントを開始します。
- 配置方向は、[スキャン方向]固定です。

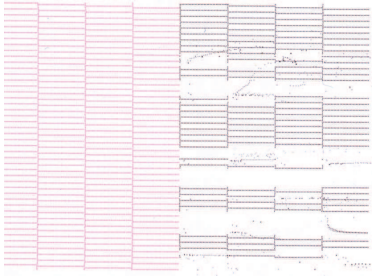


3 **プリント結果を確認する。**

吐出不良について

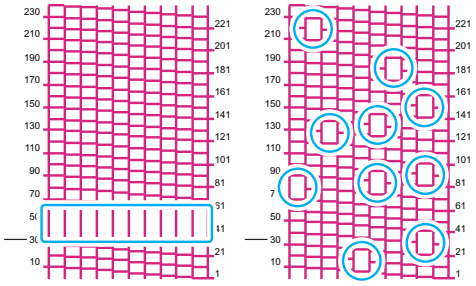
吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。


飛行曲がり


ノズル詰まり


ボタ落ち


ミスト（しぶき）


空気の混入

2.6 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。インクエラー“インクニアエンド”や“インクエンド”が表示されているときは、クリーニングを実行することができません。新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 39）

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。

1 **ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- クリーニングメニューが表示されます。

2 **クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。**

- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



- ヘッドクリーニングをしても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
  ☞「キャップゴムの清掃」（P. 96）
  ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 125）
- クリーニングの際に異音がする場合は、以下を実施してください。
  ☞「クリーニングしているときに異音がする」（P. 128）

2.7 自動補正をする

自動補正機能（DAS2：Dot Adjustment System2）は、フィード補正とドット位置補正を自動で実施します。

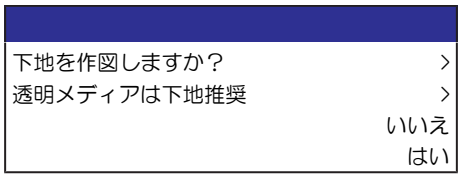
1 **ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。**



2 **[自動補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **下地の作図を行うか選択し、[ENTER]キーを押す。**

- 本画面はホワイトありのインクセットの場合のみ表示されます。
- 該当するインクセット：LUS-210：4C+W、4C+CIW、ELS-170：4C+CIW



4 **[ENTER] キーを押して調整を開始する。**



補正項目
• フィード補正 • ドット位置補正（往路、復路、往復補正） – 600Hi – 900Hi（4C+W or 4C+CIW の場合のみ） – 1200Hi

- メディアに浮きがないことを確認してください。
- 汚れのないメディアを使用してください。
- 合成紙やターポリン、布系メディアなどは、正常に補正できないことがあります。
- ホワイトなしインクセットの場合は下地を作図できないため、色付きメディア、透明メディアで正常に補正できないことがあります。
- パターンのプリント実行中にコンピューターから、RIPデータを送信しないでください。
- 自動補正に失敗したり、自動補正を実施しても調整がずれている場合は、以下のメニューを手動で実施してください。
  [ADJUST] > [フィード補正] ☞「フィード補正をする」（P. 67）
  [ADJUST] > [ドット位置補正] ☞「ドット位置補正をする」（P. 69）

2.8 フィード補正をする

- 推奨は自動補正ですが、自動補正で合わなかった場合に実施してください。

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

事前に確認してください

- メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 50）
- **ヒーターの温度を使用するメディアに合わせていますか?**☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 62）
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアをセットしていますか?
  ☞「ロールメディアをセットする」（P. 55）

● 引き戻し印刷について

ロールメディアで引き戻し印刷をする場合は、[フィード補正（引戻し）]調整を実施してください。この補正値は“引き戻し印刷”を実行したときに適用されます。

- 詳しくは、“UJV200クリア印刷ガイド”をご覧ください。https://japan.mimaki.com/product/inkjet/i-roll/ujv200-series/download-manual.html

[フィード補正]と調整方法は同じです。☞「フィード補正の手順」（P. 67）

● [フィード補正/引戻し]を実行すると：

(1) メディアの前後フィード動作が開始する。
- メディアがたるんだ状態になります。

(2) 補正パターンをプリントする。

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、メディア設定メニューに反映されます。

- 巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。

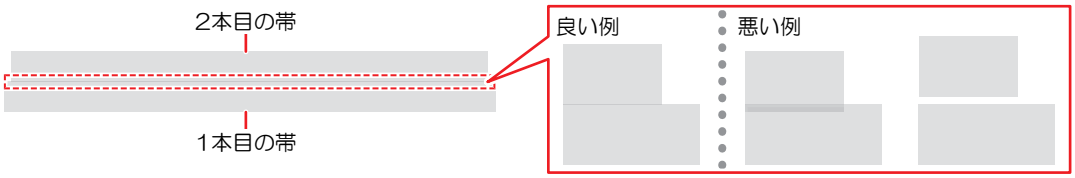
1 **ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。**



2 **[フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。**
- 補正パターンのプリントを開始します。

3 **プリント結果を確認する。**

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



4 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- "＋" 入力：2本の帯の隙間が広くなります。
- "－" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。

5 **[ENTER]キーを押す。**

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。

- 調整が終了すると、プリント原点位置までメディアがフィードして、背面のロールメディアにたるみが生じます。ロールメディアを手で巻き戻して、たるみのない状態にしてください。

プリント実行中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント実行中でも、メディアの送り量の補正ができます。

1 **リモートモード、もしくはプリント実行中に、[ADJUST]を選択する。**

2 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- 補正値：-9999～9999
- ここで入力した値は、すぐ補正値に反映されます。

2.9 ドット位置補正をする

- 推奨は自動補正ですが、自動補正で合わなかった場合に実施してください。

メディアやプリントヘッドの高さを変更したり、プリントヘッド周辺の温度変化により、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49）
- メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 50）
- **ヒーターの温度を使用するメディアに合わせていますか?** ☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 62）

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、メディア設定メニューに反映されます。プリントする解像度ごとに調整が必要です。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

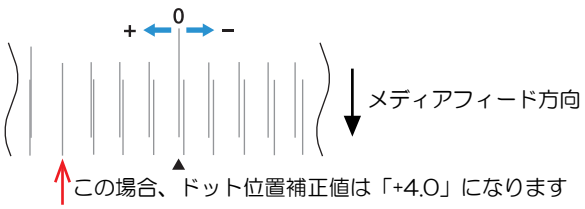
3 解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 調整したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。☞「メディア設定メニュー」（P. 80）

- 解像度はスキャン方向の解像度を示しています。

4 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



5 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- 補正値：-40 ~ 40



- 補正値が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。
☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49）

6 **パターン2以降も同様に補正値を入力する。**

2.10 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

- 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

1 “RasterLink”を起動する。

- コンピューター のデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。

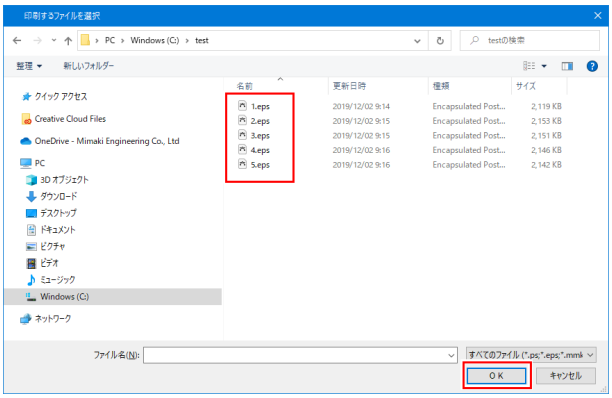


2 プリントする画像データを選択する。

(1) [ファイル] > [開く]を選択する。

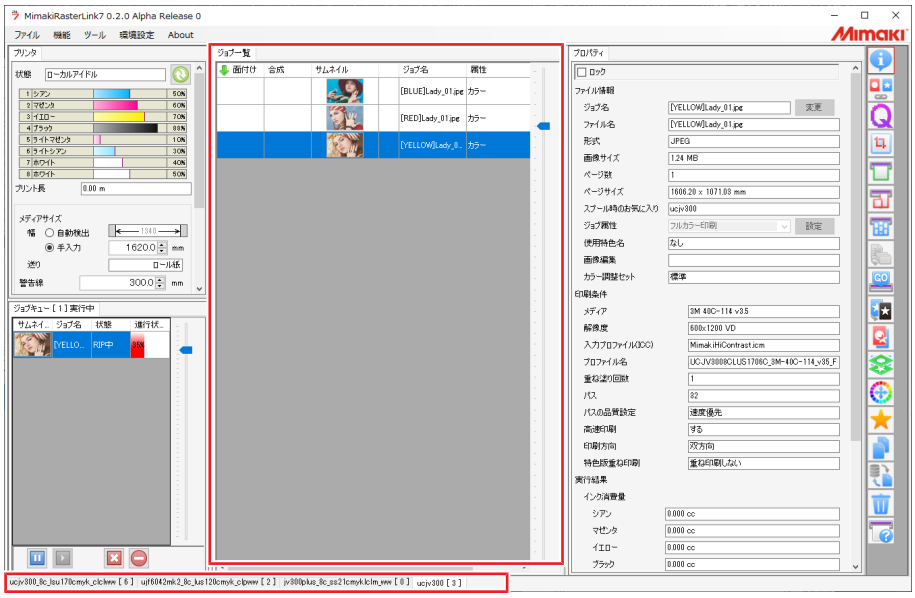
(2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。

- 複数のプリンターが登録されている場合、”プリンタ名”からUJV200-160を選択します。



3 読み込まれた画像データを選択する。

- “プリンタ名”で選択したUJV200-160のタブに画像データが追加されます。



4 画像を編集する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

（通常印刷）：拡大や縮小、回転など各種設定します。

（印刷条件）：本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。

- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

5 画像データをプリントする。

- 「プリントを開始する」（P. 74）

(1) 画面右の機能アイコンから（実行）をクリックする。

(2) ”RIP&印刷”、もしくは”RIP後印刷”を選択して、[開始]をクリックする。

- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。

(1) メインウィンドウで、例：UJV200-160のタブを選択する。

(2) プリンタタブの（最新のプリンタステータスを表示）をクリックする。

2.11 プリントする

事前に確認してください

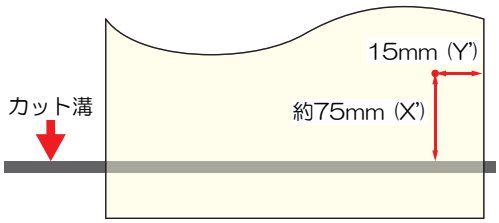
- プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49）
- メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 50）
- ロールメディアをご使用の場合、背面側のロールメディアがたるみのない状態になっていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか? ☞「ロールメディアをセットする」（P. 55）

- 設置されている環境温度や湿度によって、プリントヘッドのノズル面が結露してしまうことがあります。結露が起こると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。プリント実行中に吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が発生したときは、ヘッドクリーニングをしてください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 65）

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
  - フィード（縦：X'）方向：プラテンのカット溝から奥へ約75mm
  - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



1 ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。

- 原点設定画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶を押して、変更したい位置に原点を合わせる。

- キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。

3 [ENTER]キーを押す。

- 原点が変更されます。

プリントを開始する

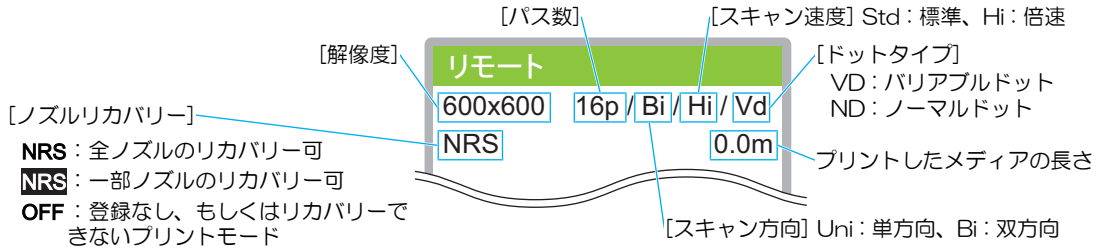
1 **コンピューターから、RIPデータを送信する。**

- ☞「RIPデータを準備する」（P. 71）

- メッセージ"Attention20A ドライバーバージョン"が表示されたときは、最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

2 **プリントを開始する。**

- RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- 同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。
- リカバリーできないノズルがある場合、プリント開始時に「ノズルリカバリー不可」と表示されます。ノズル抜けが目立つ場合は、パス数を増やしたり、解像度の変更をお試しください。

プリントを一時停止する

1 **プリント実行中に、[LOCAL]を押す。**

- プリントが一時停止されます。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

2 **[REMOTE]を押す。**

- プリントが再開されます。

- 一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する（データクリア）

1 ローカルモード画面から**[DATA CLEAR]**を選択する。



2 **[ENTER]**キーを押して、受信データをクリアする。

- 受信バッファがクリアされます。

2.12 引き戻し印刷について

- 詳しくは、“UJV200クリア印刷ガイド”をご覧ください。https://japan.mimaki.com/product/inkjet/i-roll/ujv200-series/download-manual.html

事前に実施してください

- ロールメディアで引き戻し印刷をする場合、[フィード補正(引戻し)]調整を実施してください。☞「フィード補正の手順」（P. 67）
- [引き戻し原点オフセット]調整を実施してください。☞「トンボ付きの引き戻し印刷をする場合」（P. 76）

トンボ付きの引き戻し印刷をする場合

以下の手順に従って調整してください。

- トンボなしの引き戻し印刷には反映されません。

1 **ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。**



2 **[引戻し原点オフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **プリントに使用するY方向の解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。**

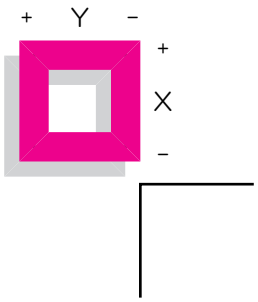
- Y解像度：600Hi, 900Hi, 1200Hi
- 補正パターンのプリントを開始します。

4 **プリント結果を確認する。**

- 補正値の入力画面が表示されます。

5 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- 1層目のパターンに2層目を合わせてください。
- 1層目（ホワイト）、2層目（マゼンタ）



- 2層目のパターンがトンボと重なっている場合：+の値を入力します。
- 2層目のパターンがトンボから離れている場合：-の値を入力します。

6 **[ENTER]キーを押す。**

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。

トンボ検出に失敗した場合

1層目のプリントが終わると、トンボ検出が実行されます。トンボの検出に失敗した場合、以下を実施してください。

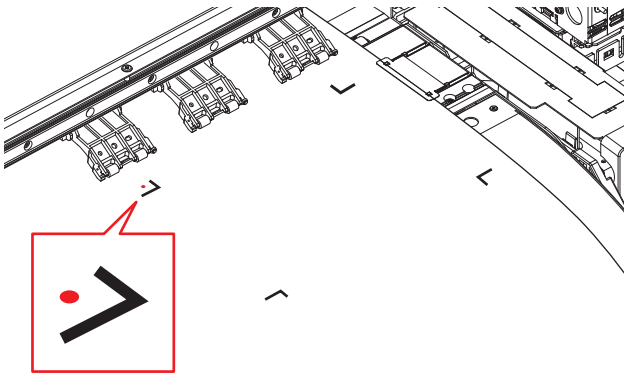
透明メディアを使ってトンボ検出に失敗する場合

- 塗りつぶしトンボに変更してください。塗りつぶす色は、ホワイトを指定してください。

1 **ローカルモード画面から[MARK DETCT]を選択し、[ENTER]キーを押す。**



2 **▼▲◀▶キーを押して、左側後端にプリントされているトンボの中央に、LEDポインターを移動する。**



3 **[ENTER]キーを押す。**

- トンボ検出を開始します。
- トンボ検出に成功すると、2層目の印刷開始位置へ原点を移動します。

2.13 メディアを裁断する

1 **ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。**

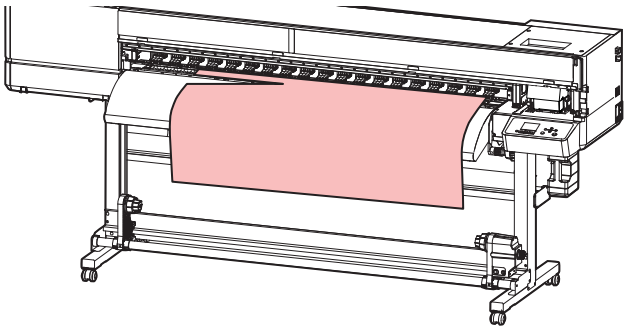
- 原点設定画面が表示されます。

2 **▲▼を押して、裁断したい位置までメディアをフィードする。**

3 **[CUT]を選択する。**

4 **[ENTER]キーを押す。**

- メディアが裁断されます。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げて**ピンチローラーとグリットローラーを離してください**。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

第 3 章　各種設定



この章では...

[MENU]の各種機能について説明しています。

メディア設定メニュー.....80
メンテナンスメニュー.....83
　手動でノズルリカバリーを登録する..... 86
　ノズルチェック（オプション）とは..... 86
機能設定メニュー.....87
環境設定メニュー.....89
マシンステータスメニュー 91

3.1 メディア設定メニュー

初めて使用するときは、[使用メディア選択]画面が表示されます。☞「メディアを登録する」（P. 60）
お使いになるメディアに合わせて、メディア情報の登録や補正値を個別に登録しておくことができます。

本機の設定と接続しているコンピューターの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピューターの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。



- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

● メニュー 一覧

項目		設定値 *1	設定値 *2	内容
フィード補正		-9999 ~ **0** ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。パターンをプリントして、補正量を入力します。☞「フィード補正をする」（P. 67）
ドット位置補正		-	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。☞「ドット位置補正をする」（P. 69）
	（解像度）	*	-	補正したい解像度を選択します。 “全て”を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。 * 選択できる解像度は、機種によって異なります。
	（補正値）	-40.0 ~ **0** ~ 40.0	-	パターンを確認して補正値を入力します。
自動補正		-	-	自動補正機能（DAS2：Dot Adjustment System2）は、補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します。☞「自動補正をする」（P. 66） • メディアに浮きがないことを確認してください。 • 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • 合成紙やターポリン、布系メディアなどは、検出できないことがあります。 • パターンのプリント実行中にコンピューターから、RIPデータを送信しないでください。 • 自動補正に失敗した場合は、手動で補正してください。[MENU] > [メディア設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
フィード補正（引き戻し）		-9999 ~ **0** ~ 9999	-	引き戻し印刷をする場合は、本項目を調整してください。引き戻し印刷機能専用のメディアの送り量を補正します。 • パターンをプリントして、補正量を入力します。☞「フィード補正をする」（P. 67）
UVモード		**ON** / OFF / 印刷なし	ON	UV-LEDライトを照射するかどうかを設定します。 • ON：ライトを照射します。 • OFF：ライトを照射しません。 • 印刷なし：プリントせずに、ライトを照射します（通常は使用しません）。
UV光量調整		-50 ~ **0** ~ +50 %	-	あらかじめ設定されているUV-LEDライトの光量を変更することができます。プリントしたあとに、性能（ベタつき、臭気など）を確認してください。 • マイナス方向：硬化を弱くしたいとき。 • プラス方向：硬化を強くしたいとき。

項目	設定値 *1	設定値 *2	内容
イオナイザー*3	**OFF** / ON	-	イオナイザー（オプション）の設定します。
MAPS	**AUTO** / MANUAL / OFF	-	MAPS:Mimaki Advanced Pass System パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。 MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。 また、画像によっては効果が得られないことがあります。 • 通常は“AUTO”で使用してください。“MANUAL”に設定すると、以下の項目が表示されます。
速度	50 ~ **100**%	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
スムージングレベル（カラー）	0 ~ **100** %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。カラーとスポットカラー（白）、それぞれ設定してください。
スムージングレベル（スポット）			
ヒーター	-	-	ヒーターの温度を設定します。 ☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 62）
PRE	**OFF** / 20 ~ 60 °C	-	プリント前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します
OFF時間	**無し** / 0 ~ 90 分	-	プリント後ヒーターを切るまでの時間を設定します。
メディア情報	-	-	メディアの情報を入力します。
メディアタイプ	-	-	使用するメディアタイプを選択します。選択できるメディアタイプは機種によって異なります。
メディア幅	-	-	メディア幅の検出方法を設定します。
検出方法	**AUTO** / MANUAL		• AUTO：センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。 • MANUAL：◀ ▶を押して、メディアの幅を手動で決定します。 – メディア幅が正しく検出できないときは、メディア幅の検出方法を“MANUAL”に設定してください。
メディア残量	-	-	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。リーフメディアの場合は、プリント長が表示されます。
メディア残量管理	ON / **OFF**	-	• ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。▲ ▼を押して、メディアの長さを設定します。 “原点設定”画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 • OFF：メディア残量は表示されません。
長さ	0 ~ **50** ~ 500 m	-	ロールメディアの長さを入力します。
詳細設定	-	-	各種機能を設定します。
吸着ファン	**ホスト** / 弱 / 標準 / 強	強	メディアを吸着する強さを設定します。 • メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド破損を防止できます。
常時動作	**ON** / OFF		• ON：常にメディアを吸着します。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
			• OFF：プリント実行中やメディアフィードなど、必要なときだけメディアを吸着します。
フィード速度	ホスト / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	メディアの送り速度を設定します。 • プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 • 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。
メディア名称変更	-	-	設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。
メディア削除	-	-	設定したメディア情報を削除します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用 ソフトウェア（ ホスト） から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

*3. イオナイザー（オプション）搭載時のみ表示されます。

3.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリー機能を設定することができます。

● メニュー 一覧

項目	設定値*1	内容
ステーションメンテ	-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンスをします。
キャリッジアウト	-	
プラテン右端まで移動	-	キャップやワイパー、NCUなどステーション周辺を清掃します。 ☞「キャップゴムの清掃」（P. 96） ☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99）
メンテスペースまで移動	-	プリントヘッド周辺を清掃します。 ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 97） ☞「メディアセンサーの清掃」（P. 101） ☞「DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃」（P. 100）
ヘッド高さ切り替え	-	メディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整します。☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49）
ノズル洗浄	-	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を復旧します。 ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 125）
ポンプチューブ洗浄	-	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄する間隔を設定します。☞「インク排出経路の洗浄」（P. 101）
保管洗浄	-	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。 ☞「長期間使用しないときは」（P. 105）
ワイパー交換	-	ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換をすると、本機で管理されていたワイパー使用回数が初期化されます。 ☞「ワイパーエンドが表示されたとき」（P. 108）
キャップ交換	-	キャップを交換するときに使用します。キャップを交換すると、本機で管理しているキャップ使用期間が初期化されます。 ☞「キャップの交換」（P. 111）
テストプリント	-	テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。 ☞「テストプリントをする」（P. 63）
スキャン方向		横方向にプリントを繰り返します。
フィード方向		メディアをフィードして、縦方向にプリントを繰り返します。
特色確認		ホワイトインクの確認をします。
クリーニング	-	ヘッドクリーニングには、いくつかのタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。 ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 65）
ソフト		線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル		線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード		ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。

項目	設定値*1	内容
ノズルリカバリ	-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。
プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。 ☞「手動でノズルリカバリーを登録する」（P. 86）
登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。
リセット	-	設定した内容を初期化します。
テストプリント	ON / **OFF**	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。
ノズルチェック*2	-	☞「ノズルチェック（オプション）とは」（P. 86）
印刷中チェック	ON / **OFF**	プリントが開始される前に、自動でノズル詰まり検出動作を実行します。
チェック間隔	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
距離	0.1 ~ **30.0** ~ 100.0 m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
ファイル	1 ~ **30** ~ 1,000 ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
プリント継続	**停止** / 継続	"ノズル詰まり"と判定された場合、プリントを継続するか停止するかを選択します。
復旧動作	OFF / 1 ~ **10** ~ 100	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	**ソフト** / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	**0** ~ 3 回	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / **OFF**	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリーを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 ☞「手動でノズルリカバリーを登録する」（P. 86）
判定条件	OFF / **1** ~ 32 ノズル	"ノズル詰まり"と判定するノズル数を設定します。1 ノズル列あたり16ノズルまで設定することができます。 連続プリント実行中に "ノズル詰まり"と判定された場合、次のプリントは開始されません。
オートメンテナンス	-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 • ワーニングメッセージ“廃インクタンク交換”が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。 ☞「廃インクタンクの交換」（P. 117）
リフレッシュ	0.5 ~ **4.0** h	設定した時間が経過したあとに、ヘッドのリフレッシュをさせる条件を設定します。
クリーニング間隔	1 ~ **24** h	設定した時間が経過したあとに、ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
タイプ	**ソフト** / ノーマル / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
プリント中メンテ	-	プリントの途中に自動実行するメンテナンスを設定します。

項目			設定値[*1]	内容
	オートクリーニング		-	設定値を超えたファイルがプリント終了したあとに、ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
		設定	ファイル / 距離 / **時間** / OFF	ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
		間隔	-	ヘッドクリーニングをさせる間隔を設定します。
		（ファイル）	1 ~ **10** ~ 1,000	設定したファイル数を超えるとクリーニングを実行します。
		（距離）	0.1 ~ **1.0** ~ 100.0 m	設定した距離に達した後に、次のプリントが開始されるタイミングでクリーニングを実行します。
		（時間）	0.5 ~ **4.0** ~ 30 h	設定したプリント時間に達した後に、次のプリントが開始されるタイミングでクリーニングを実行します。
		タイプ	ソフト / **ノーマル** / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
		クリーニング後チェック[*2]	ON / **OFF**	ヘッドクリーニングが終了したあとに、ノズルチェックをさせるかどうかを設定します。
	定期ワイピング		**OFF** / 3 ~ 255 min	設定したプリント時間を超えるとワイピングを実行します。
ホワイトメンテナンス			-	インク経路内のインクの沈降をメンテナンスします。 • ホワイトインクに色ムラが発生した場合に実行してください。
廃インクタンク			-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。☞「廃インクタンクの交換」（P. 117）
	廃インク量リセット		-	廃インクタンクの使用カウントを初期化します。☞「廃インクタンクの交換」（P. 117）
	廃インク量補正		-	廃インクタンクの使用カウントを補正します。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 117）
空気抜き			-	インク経路内に混入したエアーを排出します。 • インクを交換したのにインクエンドが表示されたままになっている場合に実行してください。 • ホワイトインクが大量にノズル詰まり（ドカ抜け）している場合に実行してください。
インク供給メンテ			-	• 「供給不足」エラーが発生している場合に実行してください。 • ホワイトインク経路にインク供給エラーが発生している場合に実行してください。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. NCU（オプション）搭載時のみ表示されます。

手動でノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。

- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり20個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

1 **メディアをセットする。**

2 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **[ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- ノズルリカバリーパターンをプリントします。
- プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。

4 **ノズルリカバリーをしたい”ヘッド番号-ノズル列番号”を選択して、[ENTER]キーを押す。**

5 **ノズルリカバリーをしたい”ノズル番号”を入力して、[ENTER]キーを押す。**

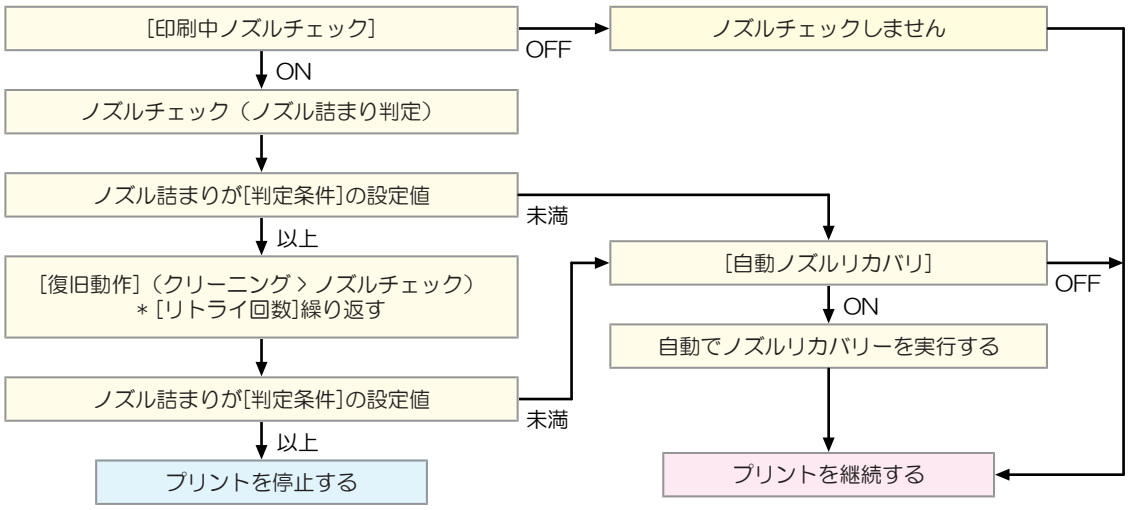
- 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ノズルリカバリーが設定されます。

6 **登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。**

- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。☞「テストプリントをする」（P. 63）

ノズルチェック（オプション）とは

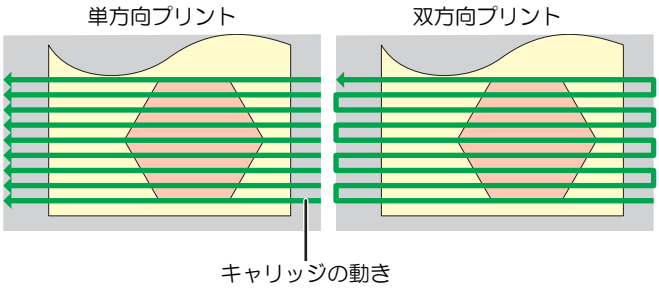
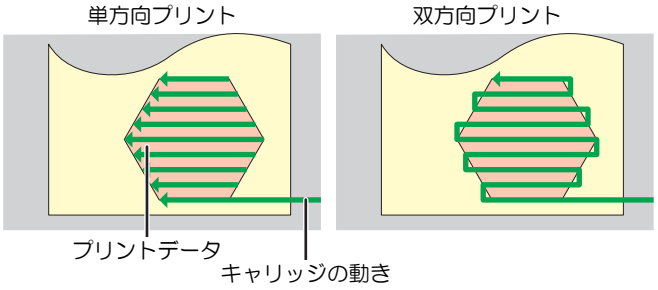
プリントが開始される前に、ノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



3.3 機能設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

項目	設定値[*1]	内容
ロジカルシーク	**ホスト** / OFF / ON	キャリッジの可動範囲を設定します。 • OFF：マシンサイズ領域  • ON：プリントデータ領域 
巻取ユニット	-	巻き取りユニットの動作を設定できます。
巻取ユニット	**ON** / OFF	巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
巻取スイッチ	**継続** / 一時	巻き取りユニットのON / OFFボタンの動作を設定します。 ☞「巻き取りユニット」（P. 51） • 継続：ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。 • 一時：ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転します。スイッチを放すと、回転が止まります。
電源設定	-	自動で電源ON / OFFする時間を設定します
オートパワーオフ	5 ~ **15** ~ 60 min	自動で電源を切る時間を設定します。
オートパワーオン	-	自動で電源を入れる時間を設定します。
設定	ON / **OFF**	電源を入れるかどうかを設定します。
時刻	**0:00** ~ 23:59	電源を入れる時刻を設定します。
曜日	月 ~ 日	曜日ごとに、電源を入れる/入れないを設定します。
ノズルチェック[*2]	**ON** / OFF	オートパワーオンで起動されたとき、自動でノズルチェック機能を実行します。"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	**ソフト** / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	**0** ~ 3 回	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。

項目	設定値*1	内容
余白設定	-	メディア左右の標準余白（15mm）からオフセットする値を設定します。 • メディア押さえを使用する場合、左右のマージンを-5mm以上に設定してください。メディア押さえの上にプリントをするおそれがあります。 • 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、マージンの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、左右のマージンはオフセット値が"0mm"になります。
マージン	-	
マージン / 左	ホスト / -10 ~ 85 mm	
マージン / 右		
ページ間余白	無し / 10~500mm	連続プリントのとき、プリント間の余白を削減することができます。 • 余白の長さを短くすると、メディアにたるみが生じて、メディアの送り量が変わってしまうおそれがあります。 • フィード方向のデータサイズやパス数によって、設定した値より余白が広くなる場合があります。
余白フィード方式	間欠 / 連続	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。 • 間欠：パス分割単位での間欠フィード動作する。 • 連続：データがない部分を一度にフィードする。
確認フィード	**ON** / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。
カット前フィード	**ON** / OFF	メディアカット前のメディアフィードをするかどうかを設定します。
自動リモート	**ON** / OFF	ローカルモードのときにデータを受信すると、自動的にリモートモードへ移行してプリントを開始するかどうかを設定します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. NCU（オプション）搭載時のみ表示されます。

3.4 環境設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

項目	設定値[*1]	内容
LANGUAGE	**English** / 日本語 / 中文 / Turkce / Português / Español / Italiano / Korean / Français	表示言語を設定します。
時刻設定	-20 ~ **0** ~ +4 h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） • -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
キーブザー	**ON** / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 • “OFF”に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
単位表示設定	-	表示単位を設定します。
温度	**°C** / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
長さ	**mm** / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 • “inch”に設定しても、"mm"単位で表示している項目もあります。
ネットワーク	-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 • IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、”0.0.0.0”と表示されます。
MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
DHCP	**ON** / OFF	"ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。
AutoIP	**ON** / OFF	"ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが”ON”の場合は、DHCPが優先されます。
リモートコントロール	-	リモートコントロール機能をご利用になる場合は、アプリケーション（MRA：Mimaki Remote Access）が必要になります。MRAは、コンピューターやスマートフォンにインストールして、本機から離れた場所（同一セグメントのネットワーク内）でも、本機の情報をみることができたり、パネル操作を可能にするリモートアクセスツールです。
リモートコントロール	**有効** / 無効	リモートコントロールの有効/無効を設定します。
PINコード	**0000** ~ 9999	MRAと同じPINコードを入力します。PINコードは、本機とMRA間の認証に使用します。 • 本機を“0000”に設定すると、MRAがどんなPINコードでも本機にアクセスできるようになります。
キーライフタイム	5 ~ **30** ~ 120 min	一定時間MRAを操作しなかったときに、本機とMRAの接続を解除する時間を設定します。

項目	設定値*1	内容
マシンリセット	-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

3.5 マシンステータスメニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー 一覧

項目		内容
使用状況	ワイパー残量	布ワイパーの残量が表示されます。 • 表示中に[FUNC2]キーを押すと、布ワイパーの残量を初期化することができます。
	廃インクタンク	廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安（%）が表示されます。 • 表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	プリント長	累積されたプリント長さが表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
	UVランプ	累積されたUV-LEDライトの照射時間が表示されます。
	キャップ使用	キャップを交換してからの経過日数が表示されます。
バージョン		本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。
エラー履歴		エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 • 発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。
リスト		本機の情報をプリントすることができます。

第 4 章　メンテナンス



この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意 94
メンテナンスの方法 95
- メンテナンス項目とタイミング 95
- インクのメンテナンス 96
- キャップゴムの清掃 96
- キャリッジ底面の清掃 97
- 布ワイパー周辺の清掃 98
- NCU（オプション）の清掃 99
- DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃 100
- インク排出経路の洗浄 101
- メディアセンサーの清掃 101
- メディア裁断カッターの清掃 102
- メディア押さえの清掃 103
- ジャムセンサー検出板の清掃 104
- プラテンの清掃 104
- カバー（外装）の清掃 105
- 長期間使用しないときは 105

消耗品の交換 107
- 消耗品を交換するタイミング 107
- 布ワイパーの交換 108
- キャップの交換 111
- ステーション周辺の吸収材の交換 113
- メディア押さえの交換 114
- メディア裁断カッターの交換 116
- 廃インクタンクの交換 117
- インクボトルキャップの交換 120

4.1 メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警 告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまいます。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注 意



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

注 記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

4.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
3日に1度、作業を始めるとき	インクを振ってください。☞「インクのメンテナンス」（P. 96）
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」（P. 96）
	キャリッジの底面を清掃してください。 ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 97）
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。 ☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 117）
	ワイパー周辺を清掃してください。☞「布ワイパー周辺の清掃」（P. 98）
1か月に1度	NCUを清掃してください。（NCUはオプションです。） ☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99）
	DASセンサーを清掃してください。 ☞「DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃」（P. 100）
	インク排出の経路を清掃してください。 ☞「インク排出経路の洗浄」（P. 101）
	メディアセンサーを清掃してください。 ☞「メディアセンサーの清掃」（P. 101）
	メディア裁断カッターを清掃してください。 ☞「メディア裁断カッターの清掃」（P. 102）
	メディア押さえを清掃してください。☞「メディア押さえの清掃」（P. 103）
	ジャムセンサー検出板を清掃してください。 ☞「ジャムセンサー検出板の清掃」（P. 104）
	プラテンを清掃してください。☞「プラテンの清掃」（P. 104）
	カバー（外装）を清掃してください。☞「カバー（外装）の清掃」（P. 105）
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。 ☞「長期間使用しないときは」（P. 105）

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。



- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクボトルを振っていただくことをお勧めします。

UVインク：1か月に1 回程度。

ホワイトインク：1日に1 回程度。

● インクボトルを振る

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割りがあります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

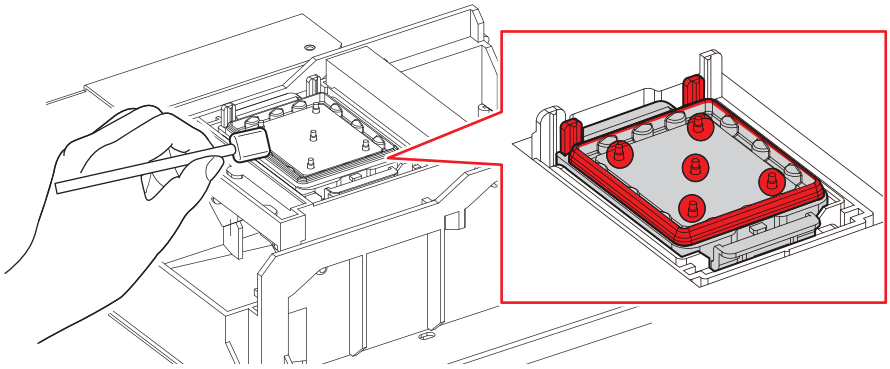
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 開閉カバーを開く。

4 キャップゴムを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ）の部分を清掃します。



5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

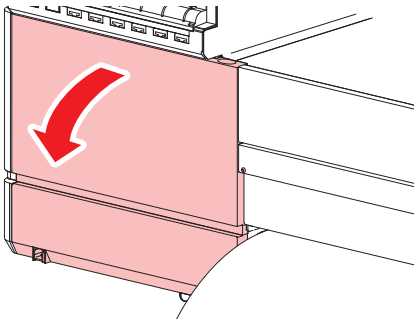
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

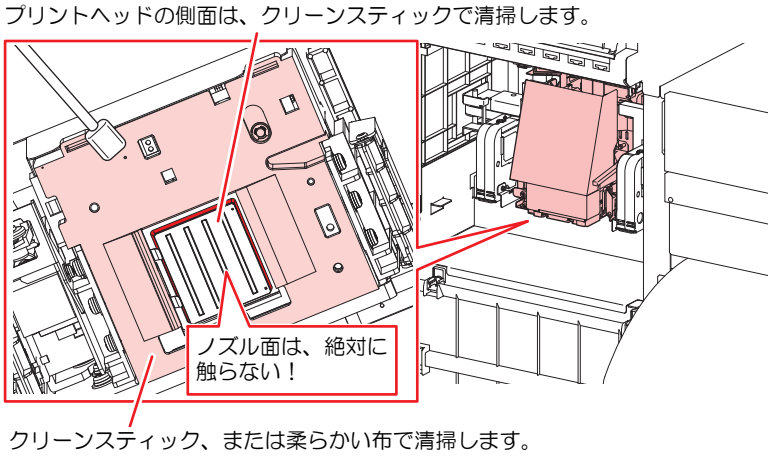
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開ける。



4 **プリントヘッド周辺を清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

5 **清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジが元の位置に戻ります。

6 **メンテナンスカバーを閉じます。**

布ワイパー周辺の清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

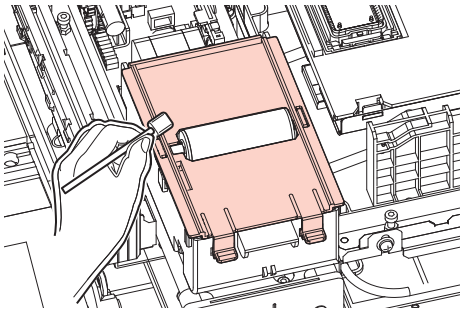
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **開閉カバーを開く。**

4 **ワイパーユニットの蓋を清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



重要! • 布ワイパーにメンテナンス液が付着しないように注意してください。

5 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

NCU（オプション）の清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

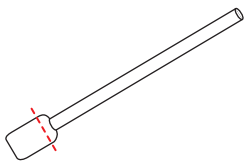
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **開閉カバーを開く。**

4 **NCUを清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



5 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（メディア設定メニュー）が実行できないおそれがあります。

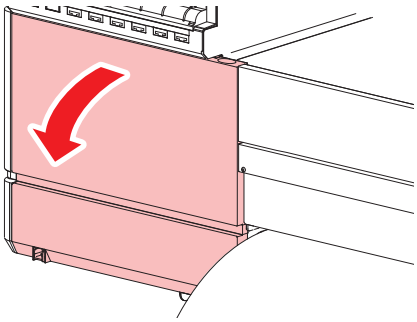
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

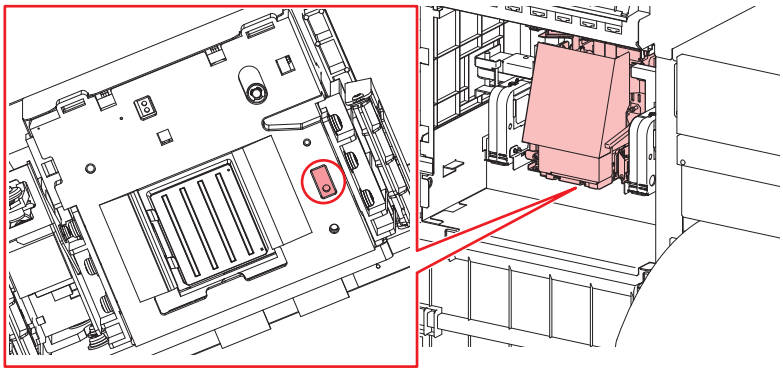
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 **メンテナンスカバーを開ける。**



4 **DASセンサーを清掃する。**

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 **清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。**

6 **メンテナンスカバーを閉じます。**

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

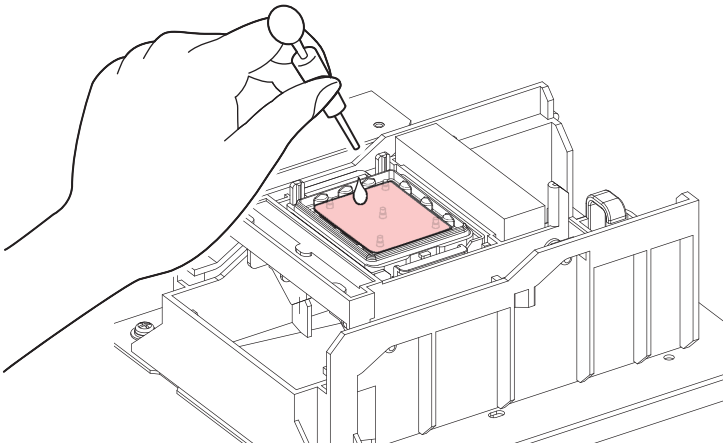
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **開閉カバーを開く。**

4 **キャップにメンテナンス液を満たす。**

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

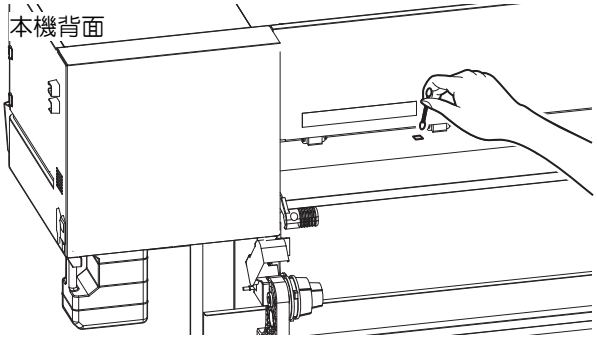


5 **開閉カバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

メディアセンサーの清掃

背面側のリアカバーに、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



メディア裁断カッターの清掃

汚れたまま使い続けると、溜まったホコリがヘッドノズル面に付着したり、カッターの切れ味が低下する原因になります。

- カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

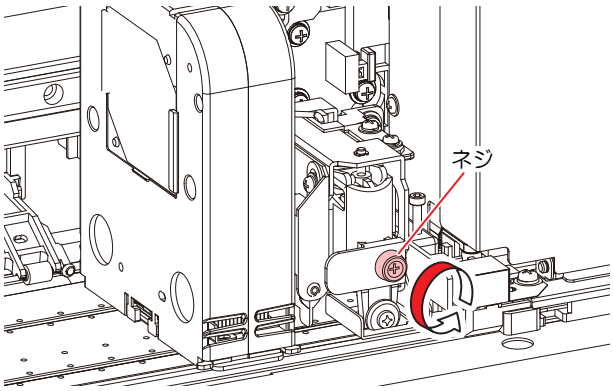
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

- キャリッジを手動で移動できます。作業しやすい位置にゆっくり移動させてください。

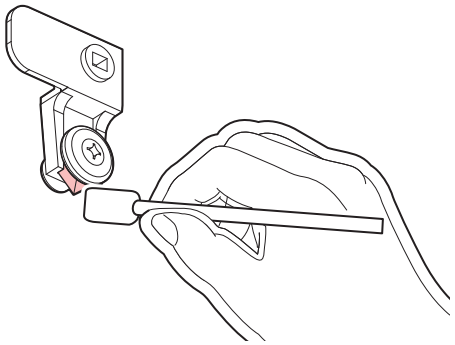
3 **開閉カバーを開く。**

4 **メディア裁断カッターを外す。**



5 **メディア裁断カッターの両面を清掃する。**

- 工業用アルコールを含ませたクリーンスティックで、付着した糊材やインク、ホコリなどを拭き取ります。工業用アルコールが残らないように拭き取ってください。

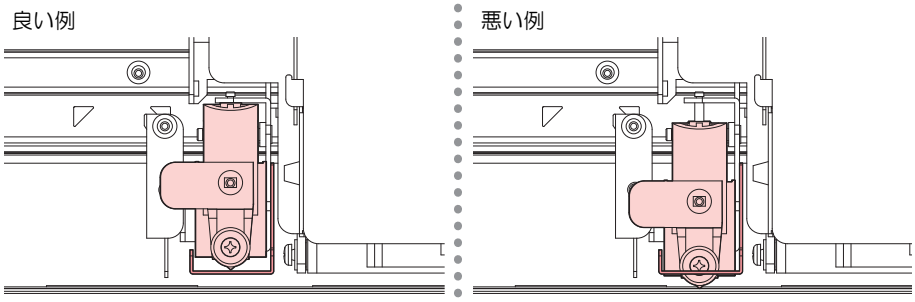


6 **メディア裁断カッターを元の位置にセットする。**

- ネジをしっかりと締めてください。ネジが緩んでいると、カッターやプラテンが破損するおそれがあります。

7 **メディア裁断カッターの位置を確認する。**

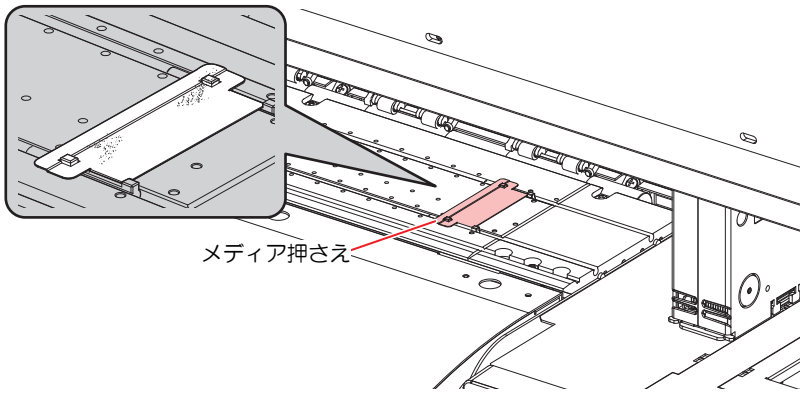
- メディア裁断カッターが下がっているときは、手で持ち上げてください。



8 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

メディア押さえの清掃

汚れたまま使い続けると、メディア検出が正しく行えなくなったり、メディアが正しくフィードできなくなったりします。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

ジャムセンサー検出板の清掃

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

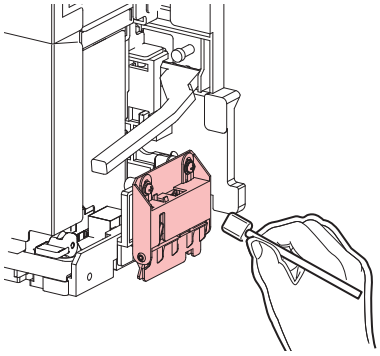
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 **開閉カバーを開く。**

4 **ジャムセンサー検出板を清掃する。**

- キャリッジ左右のジャムセンサー検出板の下部を清掃します。
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



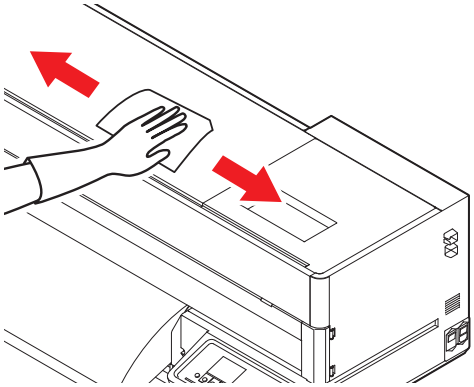
5 **清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。**

プラテンの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。
- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

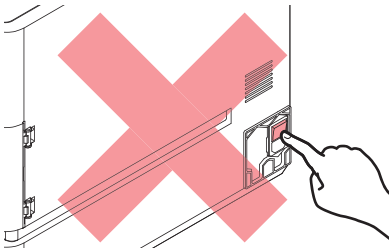
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください
[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。

本機を使用しないときは、クランプレバーを上げて**ピンチローラーとグリットローラーを離してください**。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

- ディスプレイに”廃インクタンク確認”が表示されたら、以下を実施してください。
☞「廃インクタンクの交換」（P. 117）

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **開閉カバーを開く。**

4 **ワイパーを清掃する。**

- ワイパーの清掃

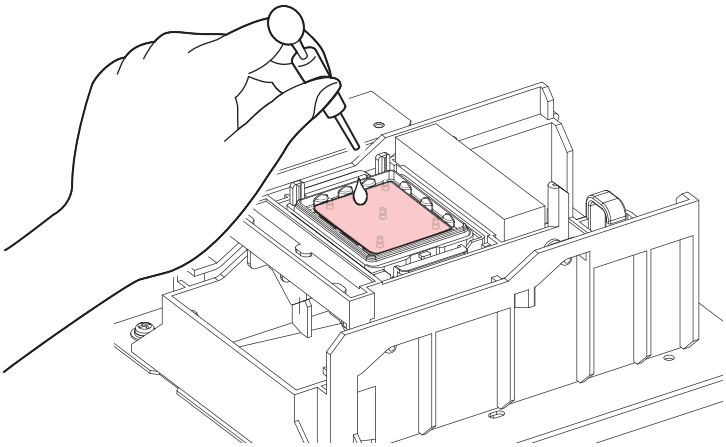
5 **キャップゴムを清掃する。**

- ☞「キャップゴムの清掃」（P. 96）

6 **清掃が終わったら[ENTER]キーを押す。**

7 **キャップにメンテナンス液を満たす。**

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



8 **開閉カバーを閉じる。**

9 **[ENTER]キーを押す。**

- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- [しばらくお待ちください。]の表示になります。

10 **再度、[メンテナンス洗浄液を満たす]が表示されたら、開閉カバーを開け、手順7と同様にキャップに洗浄液を満たす。**

11 **開閉カバーを閉じる。**

4.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。



- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

消耗品を交換するタイミング

タイミング	項目
汚れていたら	☞「ステーション周辺の吸収材の交換」（P. 113）
吐出不良が直らないとき	☞「キャップの交換」（P. 111） ☞「ワイパーエンドが表示されたとき」（P. 108）
破損があるとき	☞「キャップの交換」（P. 111） ☞「メディア押さえの交換」（P. 114） ☞「メディア裁断カッターの交換」（P. 116）
ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されたら	☞「廃インクタンクの交換」（P. 117）

布ワイパーの交換

布ワイパーがなくなりましたら、新しい布ワイパーに交換してください。

ワイパーニアエンドが表示されたとき

布ワイパーの残量が残りわずかになっています。クリーニングを実施することはできますが、早めに新しい布ワイパーに交換することをおすすめします。また、オートクリーニング☞「メンテナンスメニュー」（P. 83）が設定されている場合、プリントすることはできますが、連続プリントや引き戻し印刷は中断されますのでご注意ください。

ワイパーエンドが表示されたとき

布ワイパーが無くなっているためクリーニングを実施することはできません。また、オートクリーニング☞「メンテナンスメニュー」（P. 83）が設定されている場合はプリントを実施することができなくなります。プリントの途中でワイパーがなくなった場合、連続プリントや引き戻し印刷が中断され、布ワイパーを交換するまで再開できなくなりますのでご注意ください。



SPC-0919の布ワイパーについて

- 布ワイパーに注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。
- 布ワイパーを廃棄するときは、**必ず袋に入れて密閉してください**。産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。
- 布ワイパーを取り扱うときは、十分に換気して溶剤成分を吸い込まないように注意してください。



- **SPC-0919の布ワイパー**を取り扱うときは、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。布ワイパーにしみ込んでいる液体（溶剤）が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

1 ディスプレイに"ワイパーエンド"が表示される。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

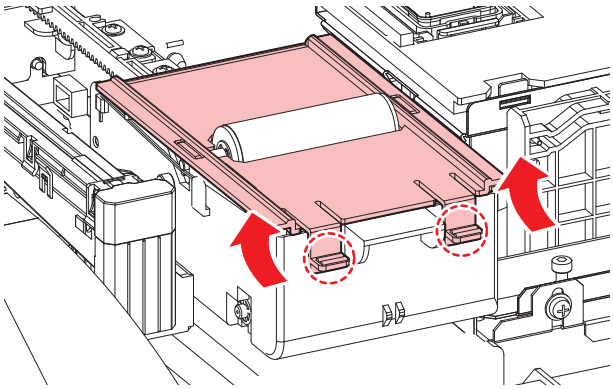
3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

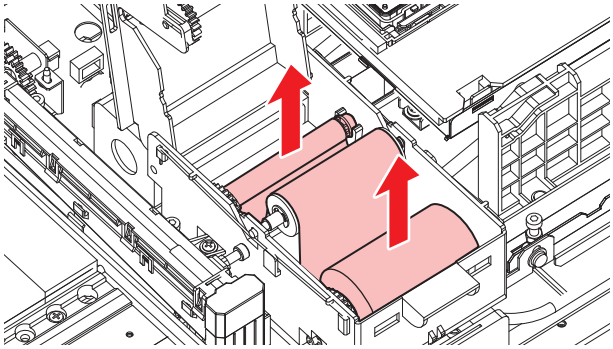
4 開閉カバーを開く。

5 布ワイパーのふたを開く。

- 手前のツメを押し上げて開きます。



6 軸ごと布ワイパーを外す。

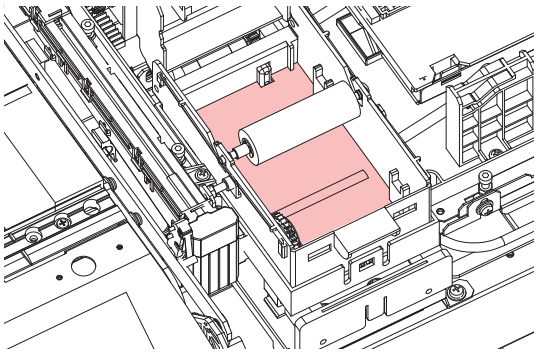


7 軸から布ワイパーを外す。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

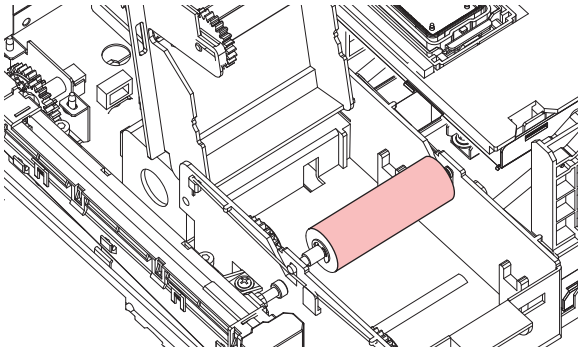
8 ワイパーユニット底面を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



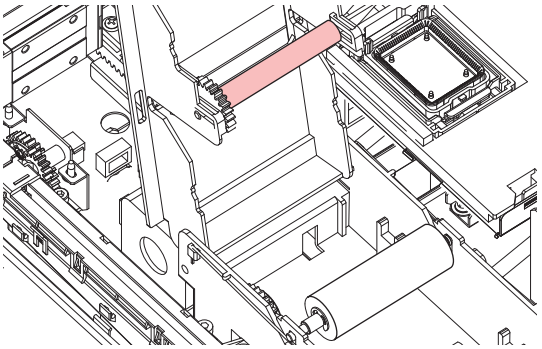
9 拭き取りローラーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



10 ピンチローラーを清掃する。

- 柔らかい布などで、付着したホコリなどを軽く拭き取ります。



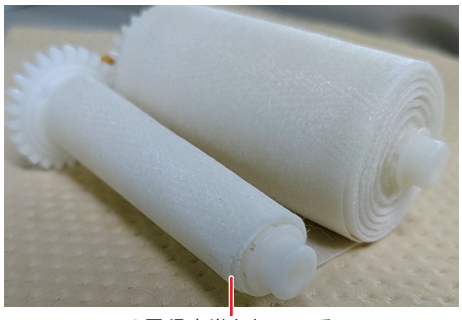
- 強くこすらないでください。スポンジが劣化するおそれがあります。

11 布ワイパーをセットする。

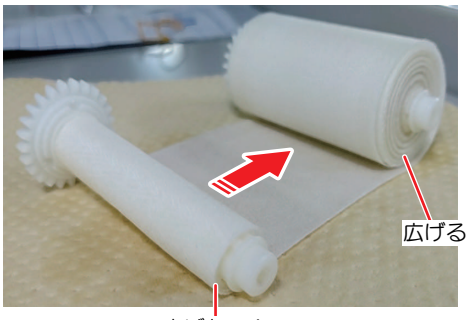
(1) 袋から布ワイパーを取り出す。

(2) 巻かれている布の多い方を広げる。

［袋から出した状態］

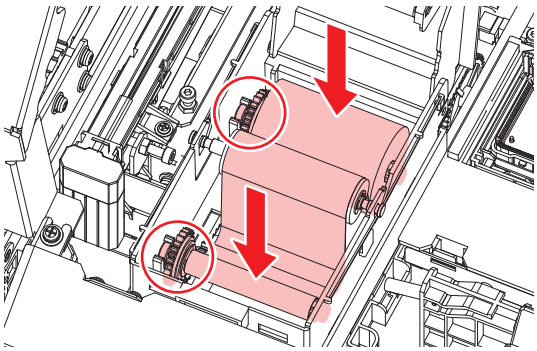


［ワイパーユニットにセットする状態］



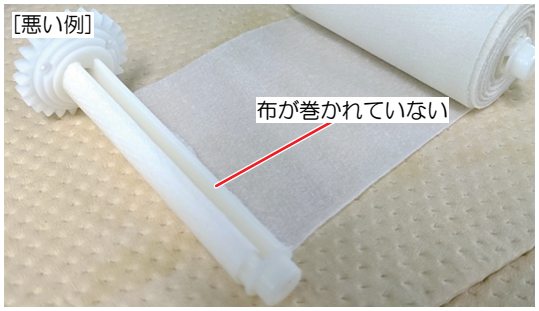
(3) 布ワイパーをセットする。

- 布ワイパーのギア部を左に向けてセットします。



重要！

- 軸に布が巻かれていない場合は、3周程度布を巻いてからセットしてください。軸に布が巻かれていない状態のままセットすると、ワイパーユニットから布が飛び出る原因になります。



12 布ワイパーのふたを閉じる。

13 開閉カバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ワイパーの残量が初期化されます。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。

- キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



- 6か月 ~ 12か月ごとにキャップの交換をお勧めします。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

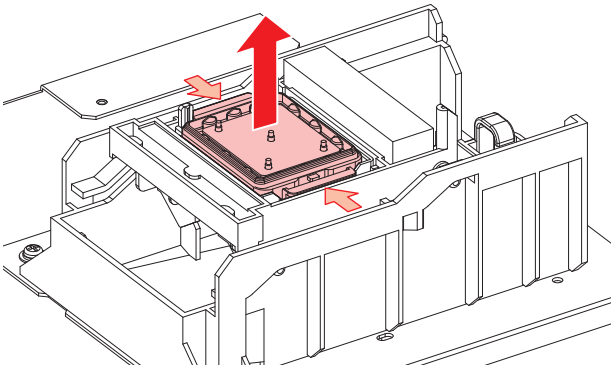
2 **[ステーションメンテ] > [キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **開閉カバーを開く。**

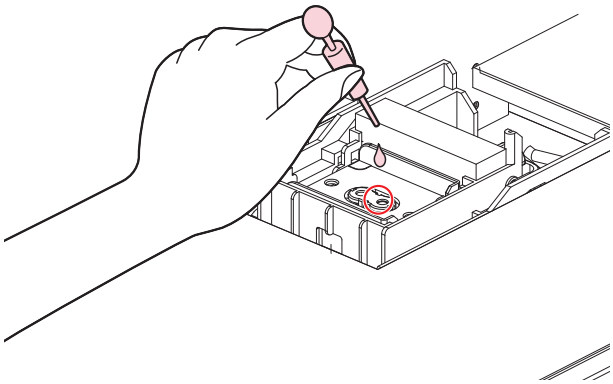
4 **キャップを外す。**

- キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



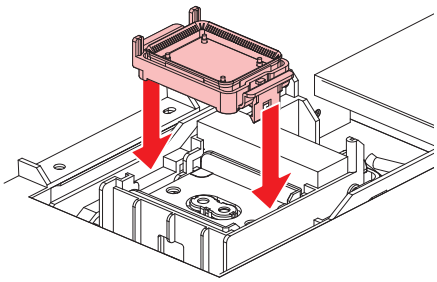
5 **メンテナンス液を塗布する。**

- スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



6 **新しいキャップをセットする。**

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。



7 **交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

ステーション周辺の吸収材の交換

キャップ吸収材やメンテナンス液吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

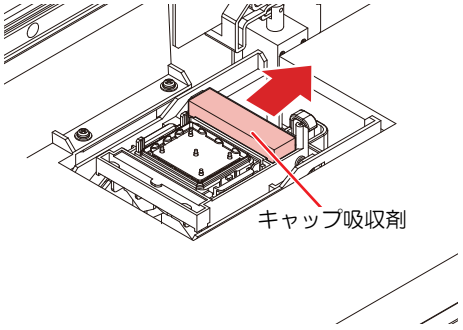
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

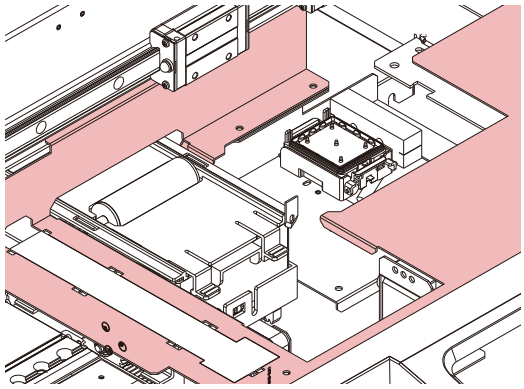
3 **開閉カバーを開く。**

4 **キャップ吸収材を外す。**



- キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

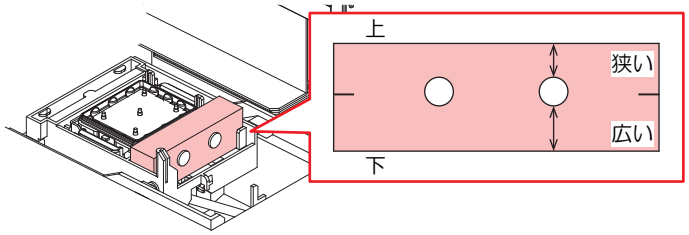
5 ステーションカバーを清掃する。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

6 新しいキャップ吸収材をセットする。

- 吸収剤の向きは図のように穴の位置が狭いほうが上に、広いほうを下にして取り付けてください。



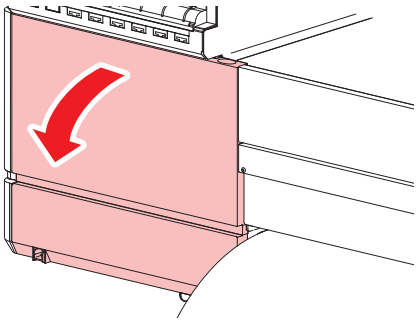
7 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえの交換

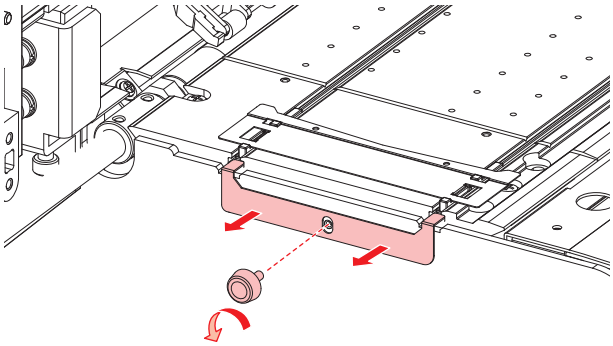
メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換してください。

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

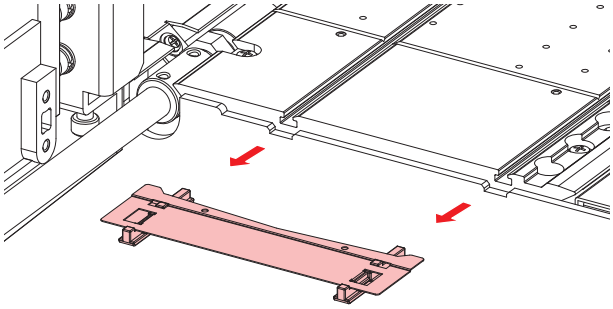
1 メンテナンスカバーを開ける。



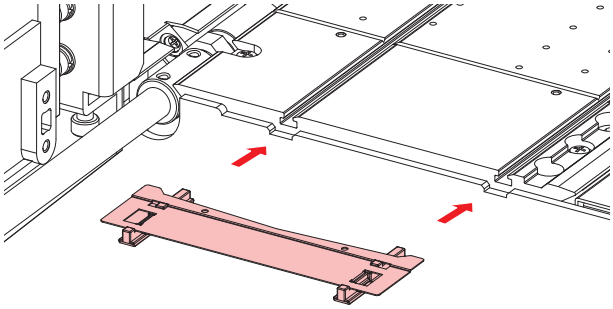
2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。



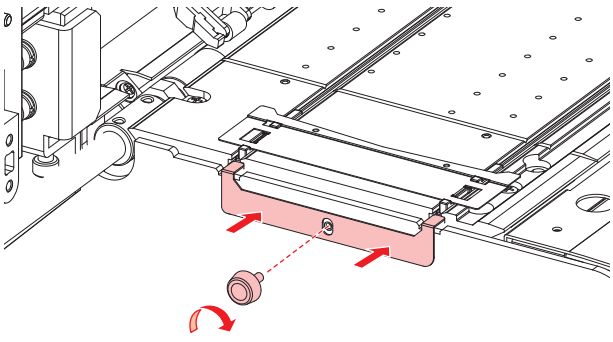
3 メディア押さえを外す。



4 プラテンに新しいメディア押さえをセットする。



5 メディア押さえストッパーをネジで固定する。



6 メンテナンスカバーを閉じる。

メディア裁断カッターの交換

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。

- カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

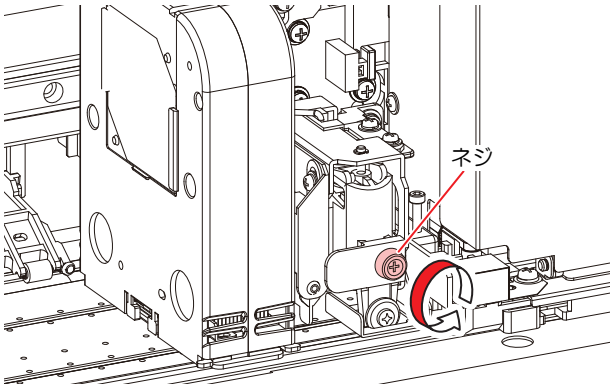
- キャリッジがプラテン上に移動します。

- キャリッジを手動で移動できます。作業しやすい位置にゆっくり移動させてください。

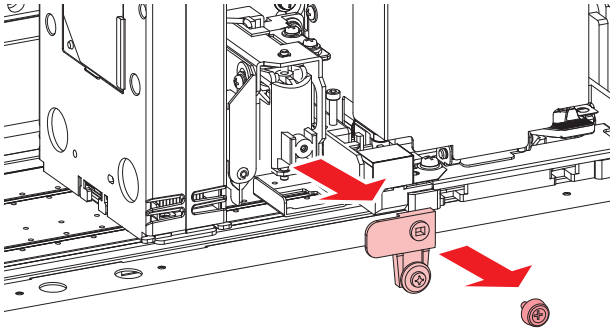
3 **開閉カバーを開く。**

4 **メディア裁断カッターを交換する。**

(1) カッターのネジを緩める。



(2) カッターを外す。

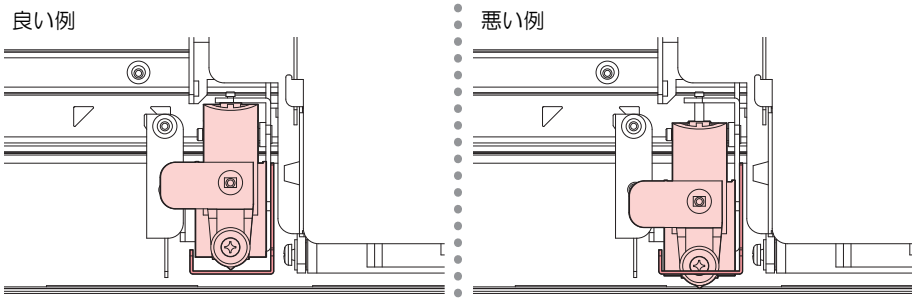


(3) 新しいカッターをセットする。

(4) ネジを締めて固定する。

5 メディア裁断カッターの位置を確認する。

- メディア裁断カッターが下がっているときは、手で持ち上げてください。



6 交換が終わったら[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに”廃インクタンク確認”が表示されます。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。

- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。 1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

1 ディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示される。

2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。

- 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、☞「廃インクタンクを交換する」（P. 118）を実施してください。

3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

6 ▲▼を押して、レベルを調整する。

7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

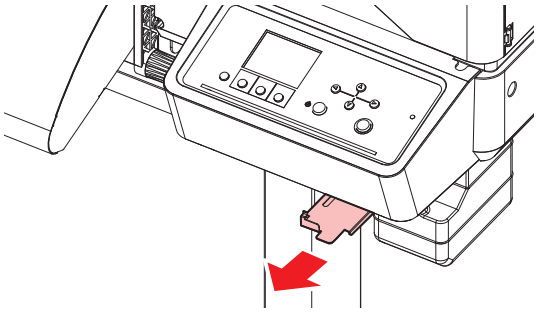
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

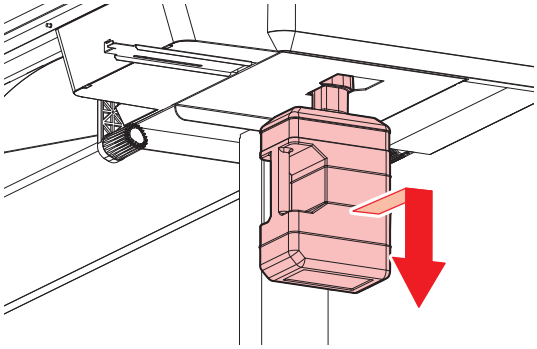
2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

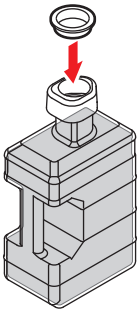
4 廃インクタンクのストッパーを手前に引く。



5 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。

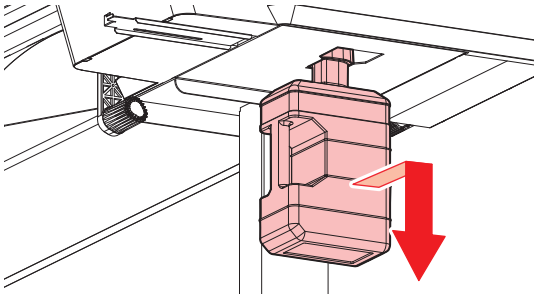


6 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。

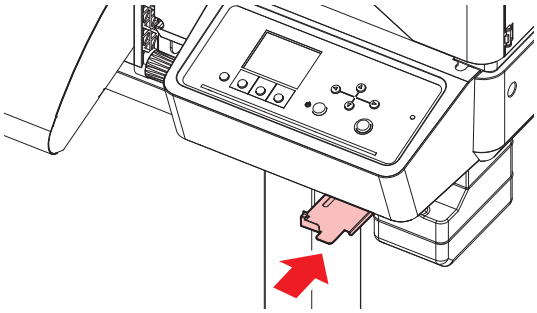


- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

7 新しい廃インクタンクをセットする



8 廃インクタンクのストッパーを閉じる。



9 **[ENTER]キーを押す。**

- 廃インク排出量が初期化されます。

インクボトルキャップの交換

1年を目安に交換してください。交換方法はインクを交換するを参照してください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

第 5 章　困ったときは



この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは.....122
電源が入らない..... 122
プリントできない 122
メディア詰まり、メディアが汚れる..... 122
画質不良が発生した..... 123
ヒーターの温度が規定値まで上昇しない 127
インクが漏れた..... 127
遮光カバーが外れてしまった 127
クリーニングしているときに異音がする .128
メッセージを表示するトラブル 129
ワーニングメッセージ 129
インクエラー 132
エラーメッセージ 133
SYSTEM HALT 140

5.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/support/）にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

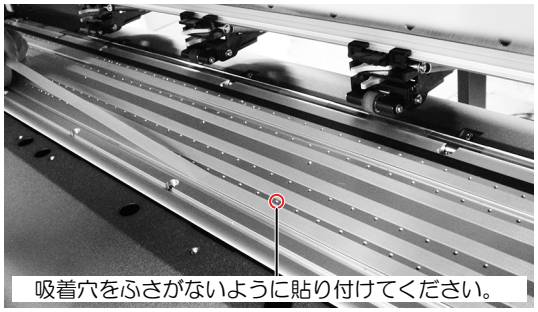
確認すること	対処方法
本機とコンセントが電源ケーブルで接続されていますか?	電源プラグの刃を根元まで挿し込んでください。☞「電源ケーブルを接続する」（P. 30）
付属の電源ケーブルを使用していますか?	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか?	主電源を入れてください。☞「電源を入れる」（P. 30）
操作パネルにある、[END/POWER]キーがオンになっていますか?	電源を入れてください。☞「電源を入れる」（P. 30）

プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェイスケーブルが、接続されていますか?	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞「USBケーブルを使う」（P. 34）
LANケーブルが、接続されていますか?	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞「LANケーブルを使う」（P. 33）
弊社指定のLANケーブルを使用していますか?	LANケーブルの種類を確認してください。☞「LANケーブルを使う」（P. 33）
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか?	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞「操作パネル」（P. 27）

メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
弊社が推奨しているメディアを使用していますか?	推奨メディアを使用してください。https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html
カールしてるメディアを使用していませんか?	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか?	巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。☞「メディアをセットする」（P. 50）

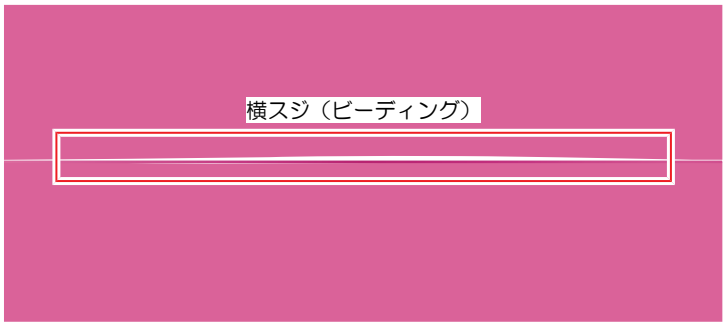
確認すること	対処方法
メディアが波打ったり、浮いたりしていませんか?	ロールメディアの場合、波打っていない面までフィードしてから、お使いください。また付属されているNITOFLON®（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。  詳しくは、”プラテン上のメディアの搬送について”をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジ*1が発生する （キャリッジスキャン方向）	1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。☞「メディア押さえの清掃」（P. 103）☞「プラテンの清掃」（P. 104） 2. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 65）を実施してください。 3. ☞「フィード補正をする」（P. 67）を実施してください。 4. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 96）を実施してください。 5. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 97）を実施してください。
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	1. ☞「フィード補正をする」（P. 67）を実施してください。
往復プリントでズレが発生する	1. ☞「ドット位置補正をする」（P. 69）を実施してください。
プリント実行中にインク滴が落ちる	1. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 96）を実施してください。 2. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 97）を実施してください。 3. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 65）を実施してください。 4. オートメンテナンスを設定してください。☞「メンテナンスメニュー」（P. 83）
ノズル詰まりした	1. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 65）を実施してください。 2. ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 125）を実施してください。 3. ☞「手動でノズルリカバリーを登録する」（P. 86）を実施してください。
プリントヘッドの高さを上げ過ぎていませんか?	プリントヘッドの高さを調整してください。☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49） プリントヘッドの高さを下げられない場合は、プリント中のリフレッシュレベル（☞ P. 83）を上げたり、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
あまり使っていないインクカラーはありませんか?	使用頻度が低いノズルは吐出が安定しない傾向があります。プリント中のリフレッシュレベル（☞ P. 83）を上げるとノズルの使用頻度を上げることができますが、インク消費量が増えてしまいますのでご注意ください。
帯電しやすいメディアを使っていませんか?	プリント中のリフレッシュレベル（☞ P. 83）を上げたり、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。

現象	対処方法
本機を湿度の低い場所に設置していませんか?	加湿器などを設置して、湿度を上げてください。また連続してプリントする場合は、プリント中のリフレッシュレベル（☞ P. 83）を上げたり、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
本機をホコリや粉じんのある場所に設置していませんか?	本機をホコリや粉じんがない場所（オフィス相当：粉塵レベル 0.15mg/m^3）に設置してください。

*1. テストプリントが良好であっても、解像度900x600dpi、スキャン速度Hiでベタプリントを行った際に、横スジが発生してしまう可能性があります。



横スジが良化しない場合は、表内の対処方法の他に、下記設定の確認と印刷条件の変更を試してください。

– メディアに合わせたプロファイルを使用する。
– ヒーターの温度を上げる。☞ 「ヒーターの温度を設定する」（P. 62）
– パス数を上げる。

プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング（ヘッドクリーニングをする）を実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、 プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **開閉カバーを開く。**

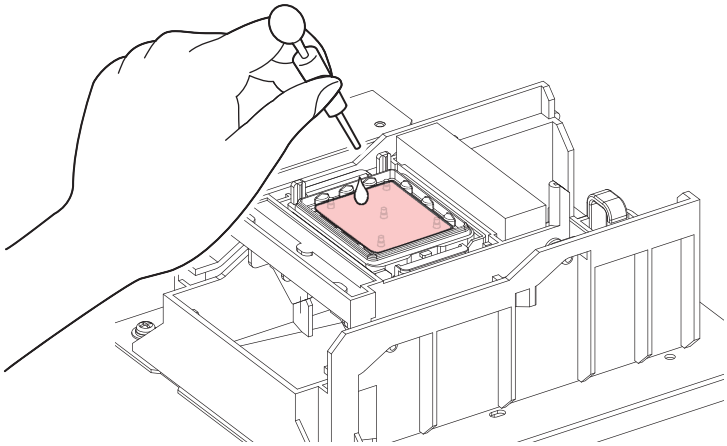
- ワイパーの清掃

4 **キャップゴムを清掃する。**

- ☞「キャップゴムの清掃」（P. 96）

5 **キャップにメンテナンス液を満たす。**

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



6 **開閉カバーを閉じる。**

7 **[ENTER]キーを押す。**

- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。

- ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ホワイトインクが大量にノズル詰まりした

ホワイトインクが大量にノズル詰まり（ドカ抜け）している場合、空気抜きをしてください。大量にインクを消費しますので、ご注意ください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

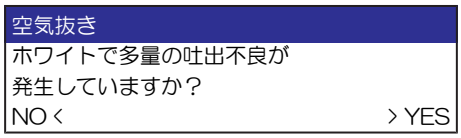
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[空気抜き]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **▶を押して、[YES]を選択する。**



4 **▶を押して、[YES]を選択する。**



5 **ディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示される。**



6 **廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。**

- 実際の量と誤差がある場合は、廃インク量を補正してください。メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、廃インクタンクを交換してください。廃インクタンクを交換する

7 **[ENTER]キーを押して、“空気抜き”を開始する。**



8 **テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。**

- テストプリントをする

ヒーターの温度が規定値まで上昇しない

設定方法に問題があると考えられます。

確認すること	対処方法
ヒーターの温度設定は有効ですか?	ヒーターの温度を設定してください。☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 62）☞「メディア設定メニュー」（P. 80）
100V/200V切り替えスイッチは合っていますか?	電源切り替えスイッチの確認が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

インクが漏れた



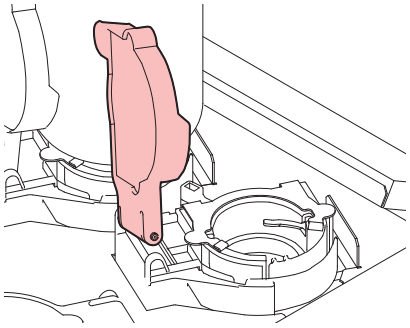
- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

遮光カバーが外れてしまった

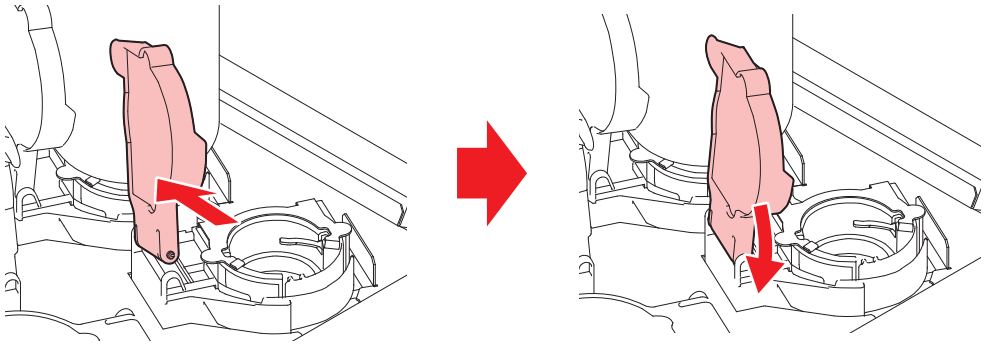
遮光カバーが外れたまま放置すると、インク供給ユニットの内部に光が射し込み、インクが硬化するおそれがあります。

遮光カバーが外れたときは、次の手順で取り付けてください。

1 **遮光カバーの片方の突起をタンクの穴に挿し込む。**



2 **手順1で挿し込んだ穴の方に押しながら、もう一方の突起を挿し込む。**



クリーニングしているときに異音がする

布ワイパーのギアに布ワイパーが巻き込まれている可能性があります。布ワイパーを一度外して、再セットしてください。

重要！
- 以下の手順に従ってください。[ワイパー交換]メニューを使うと、ワイパーの残量が初期化されてしまいます。



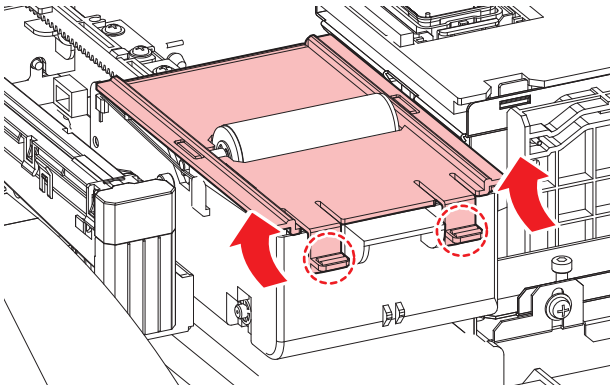
- SPC-0919の布ワイパーを取り扱うときは、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。布ワイパーにしみ込んでいる液体（溶剤）が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- メンテナンスメニューが表示されます。

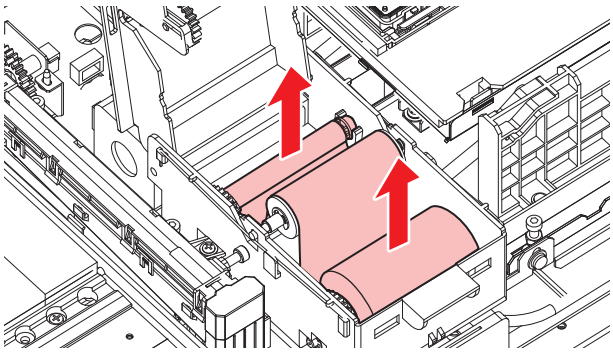
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 開閉カバーを開く。

4 布ワイパーのふたを開く。
- 手前のツメを押し上げて開きます。



5 軸ごと布ワイパーを外して、再セットする。



5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイダンスでも確認することができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 29）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
NCU *1インク吸収材交換	• インク吸収材の交換時期になった。	• NCU*1のインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU*1交換	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCU*1を清掃してください。☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99） • エラーが解消されない場合、NCU*1の交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU *1センサー感度低下	• センサー感度が低下している。	• NCU*1を清掃してください。☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99） • エラーが解消されない場合、NCU*1の交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU *1感度調整エラー H	• センサー感度調整に失敗した。	
NCU *1感度調整エラー L		
NCU*1接続異常	• NCU*1の接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
インクエラーあり	• インクエラーが発生している。	• インクエラーの内容を確認してください。☞「インクエラー」（P. 132）
カバーオープン	• カバーが開いている。	• カバーを閉じてください。
クランプ レバー下げてください	• クランプレバーが上がっている。	• クランプ レバーを下げてください。☞「正面」（P. 22）
プリントデータあり	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント一時中断	• プリントを一時停止している。	• リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント不可/インクIC	• 使用できないインクICチップが使われている。	• 新しいインクとインクICチップに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 39）
メディアがありません	• メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	• メディアをセットしてください。☞「メディアをセットする」（P. 50）

メッセージ	原因	対処方法
		• メディアセンサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」（P. 101）
メディアをセットしてください	• メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	• メディアをセットしてください。☞「メディアをセットする」（P. 50）
メディア未検出	• メディア幅を検出していない。	• メディア幅を検出してください。☞「メディアをセットする」（P. 50）
ワイパー動作不良	• ワイパーが正常に動作しない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
廃インクタンク交換	• 廃インクタンクのカウントが規定量（90%）を超えた。	オートメンテナンス機能が実行できません。以下を対処してください。 1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 117） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクタンクを交換する」（P. 118）
廃インクタンク確認	• 廃インクタンクのカウントが規定量（80%）を超えた。	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 117） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクタンクを交換する」（P. 118）
環境温度が高い **゜C	• 室内の温度が高い。	• 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。☞「設置上のご注意」（P. 15）
環境温度が低い **゜C	• 室内の温度が低い。	
自動補正エラー	• メディアが汚れている。 • メディアが浮いている。 • センサー周辺が汚れている。	• 汚れのないメディアを使用してください。 • メディアが浮かないようにセットしてください。 • センサー周辺を清掃してください。☞「DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃」（P. 100） • エラーが解消されない場合はセンサーの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
カラーセンサ光量不足	• 色付き・透明メディア使用時に下地を作図していない。 • メディアが汚れている。 • メディアが浮いている。 • センサー周辺が汚れている。	• 色付き・透明メディアを使用している場合は下地を作図して下さい。☞「自動補正をする」（P. 66） • 汚れのないメディアを使用してください。 • メディアが浮かないようにセットしてください。 • センサー周辺を清掃してください。☞「DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃」（P. 100） • エラーが解消されない場合はセンサーの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

メッセージ	原因	対処方法
メディア検出失敗	• メディア押さえが正しくセットされていない。 • プラテンが汚れている。 • プラテン上のメディアに印刷物または汚れがある。 • センサー周辺が汚れている。	• メディア検出時はメディア押さえでメディアを挟んでください。☞「ロールメディアをセットする」（P. 55） • プラテンを清掃してください。☞「プラテンの清掃」（P. 104） • 印刷物や汚れの無い位置までメディアをフィードしてください。 • センサー周辺を清掃してください。☞「DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃」（P. 100） • エラーが解消されない場合はセンサーの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

*1. NCUはオプションです。

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38）
インク ニアエンド	• インク残量が、残りわずかになっている。	• 間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞「インクニアエンドが表示されたとき」（P. 38）
インクIC無し	• インクICチップがない。	1. インクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 39） 2. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクを交換する」（P. 39） 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクを交換する」（P. 39） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 39）
インク カラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 39）
インク種類	• 充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。	• 正しいインクタイプのインクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 39）
インク期限注意	• インクが期限切れになった。	• 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38）
インク期限オーバー	• インクが期限切れから、2か月経過した。	• 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38）
インク使用量超過	• インクの使用量が規定値を超えた。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38） • ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
04	PARAM ROM	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
108	HD THERMIS[1]	• プリントヘッド温度制御に異常を検出した。	
108	HD CONNECT[1]	• プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
108	HD MEM EMP[1]	• プリントヘッドの異常を検出した。	
10e	FROM CLEAR	• メイン基板に異常を検出した。	
10f	FROM WRITE		
122	CHECK：SDRAM	• SDRAMに異常を検出した。	
123	PRAM DATA	• メイン基板に異常を検出した。	
124	PRAM ADDR		
127	POWER OFF		
128	HDC FIFO OVER	• プリントヘッド制御基板に異常を検出した。	
128	HDC FIFO UNDER		
129	バッテリ交換	• 内蔵時計の電池切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
12a	HDC SPEED	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
130	HD DATA SEQ	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
147	DS-IC BUSY	• インクIC制御に異常検出した。	
148	E-LOG SEQ	• ログの制御に異常を検出した。	
154	Main PCB V05	• メイン基板5V電源に異常を検出した。	
155	Main PCB V42-1	• メイン基板42V電源に異常を検出した。	
15f	HEAD DRIVE HOT	• 新しいプリントヘッドの接続を認識した。	
171	NEW HEAD CONNECT		
186	HDC OVERFLOW / HDC UNDERFLOW	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
187	HDC SLEW RATE		
188	HDC MEMORY		
18e	FLS NOT COMP	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
18f	OFSET START [1]		
18f	OFSET END [1]		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
1b8	HEAD XHOT	• プリントヘッドに異常を検出した。	
201	コマンドエラー	• プリント（RIP）データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	1. データクリアを実行して、再度データを送信してください。 2. USB/Etherケーブルの接続を確認してください。「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 29） 3. 規格に適合したケーブルを使用してください。「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 29） 4. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
202	パラメーターエラー	• 受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	
206	プリントモードエラー	• プリントできないプリント条件のプリント（RIP）データを受信した。	• RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。
20a	ドライバーバージョン	• Mimakiドライバーのバージョンが古いため、プリントすることができない。	• 最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
303	PCB MAIN ET	• メイン基板に異常を検出した。	1. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 31）
304	USB INIT ERR	• USBケーブルの接続に異常を検出した。	1. USBケーブルの接続を確認してください。「USBケーブルを使う」（P. 34） 2. 規格に適合したケーブルを使用してください。「USBケーブルを使う」（P. 34） 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 31）
305	USB TIME OUT		
30d	Ethernet Speed	• 通信速度低下（1Gbps未満の速度しか出ていない）	• Ethernetケーブルを刺し直す。 • Ethernetケーブルを交換する。 • PCなどのネットワークの設定を確認し[1000BASE]に設定する。（UTPカテゴリ5異常、1000BASE-T)
401	モーターアラーム X	• Xモーターに過大な負荷がかかった。	1. メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。「メディアをセットする」（P. 50） 2. キャリッジ動作に障害があるものがないかどうかを確認してください。 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 31）
402	モーターアラーム Y	• Yモーターに過大な負荷がかかった。	
403	X オーバー カレント	• Xモーターの過電流エラーを検出した。	
404	Y オーバー カレント	• Yモーターの過電流エラーを検出した。	
406	ワイパー動作不良	• ワイパー原点が、検出できなかった。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 31）
44f	巻取ロール センサ異常	• 巻き取りユニットのセンサー軸に異常を検出した。	1. [機能設定] > [巻取ユニット] が、[ON]に設定されているかどうかを確認してください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			2. メディアのセット状態を確認してください。「ロールメディアをセットする」（P. 55） 3. 巻き取りユニットのスイッチで動作するかどうかを確認してください。「巻き取りユニット」（P. 51）
47f	巻取ロール径最大	• 巻き取りユニットのメディア径が最大に達した。	1. 巻き取りユニットの紙管を交換してください。
504	CLAMP UP	• クランプレバーを上げた。	• クランプレバーを下げてください。
505	メディアジャム	• メディアジャムセンサーが反応した。	1. 接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。「メディアをセットする」（P. 50） 2. キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。
509	HDC POSCNT	• 位置制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 31）
50a	Y原点検出	• Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。	
50c	メディア幅センサー確認	• メディア幅の検出に異常を検出した。	1. メディアのセット位置を確認してください。「メディアをセットする」（P. 50） 2. メディア幅センサーを清掃してください。「DAS（自動補正機能）/紙幅センサーの清掃」（P. 100）
50f	L-SCALE BLACK	• リニアスケールに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 31）
516	メディア位置 右（左）過ぎます	• メディアが範囲外にセットされている。	1. メディアのセット位置を確認してください。「メディアをセットする」（P. 50） 2. メディア幅センサーを清掃してください。「メディアセンサーの清掃」（P. 101）
525	イオナイザー異常	• イオナイザーの内部回路が破損したか、異常放電が発生している。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 31）
526	イオナイザー イオンレベル	• 電極針の汚れや摩耗によって、イオン発生量が低下している。	• イオナイザー取扱説明書を参照して、電極針を清掃してください。
527	イオナイザー コンディション	• 周囲の金属によってイオンが吸収されるなど、設置環境の不安定さから除電能力に影響が出ている。	• イオナイザーの近くに導体や別の除電器がある場合は、導体や除電器を遠ざけてください。
54b	メディア押さえ確認	• メディア押さえ検出に失敗した。	1. メディアのセット位置を確認してください。「メディアをセットする」（P. 50）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			2. メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」（P. 101）
54c	吸着ファン異常	• 吸着ファンの異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
54e	UV-LEDファン異常	• UV-LED冷却ファンが回転不良を検出した。	
602	インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38）
604	廃インクタンク確認	• 廃インクタンクのカウントが規定量（80%）を超えた。	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「メッセージ"廃インクタンク確認"が表示されたら」（P. 117） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクタンクを交換する」（P. 118）
608	インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクを交換する」（P. 39） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31） 3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 39）
60a	インク使用量超過	• インクICに書き込まれた使用量が規定値を超過した。 • インク交換と一緒に、インクICチップの交換をしなかった。（同一チップを使用し続けた） • ノズル詰まりのまま使用を続けた。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38）
60c	インク種類	• 充填されているインク種類とインクICチップに登録されているインク種類が異なる。	• 正しいインク種類のインクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 39）
61b	インク供給	• インクが供給できない。	1. [メンテナンス] > [インク供給メンテ]を実施してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
627	ボトルセット	• 一定時間インクICチップが読めない。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
629	インク期限注意	• インクが期限切れになった。	• 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
62a	インク期限オーバー	• インクが期限切れから2か月経過して、インクが使用できなくなった。	• 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 38）
631	インクカラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 39）
637	INK LEAK _	• インク漏れセンサーがインク漏れを検知した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
650	NCU*1接続異常	• NCU*1の接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
651	NCU*1交換	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCU*1を清掃してください。☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99） • エラーが解消されない場合、NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
652	NCU *1検出エラー（HW）	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCU*1を清掃してください。☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99）
653	NCU *1検出エラー（マーク）		
654	NCU*1 センター位置検出エラー	• 吐出位置の調整に失敗した。	
655	NCU *1吐出位置検出エラー		
656	NCU *1SN調整エラー	• センサー感度調整に失敗した。	
657	NCU *1インク吸収材交換	• NCU*1のインク吸収材が満杯になった。	• NCU*1のインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
658	NCU*1 センサー感度低下	• センサー感度が低下している。	• NCU*1を清掃してください。☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99） • エラーが解消されない場合、NCU（オプション）の交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
659	供給不足	• インクの供給に問題が生じている。	1. エラーが発生している経路のインクパックに十分にインクがあることを確認してください。 2. エラーが発生している経路のインクパックが折れ曲がっていないことを確認してください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			3. [メンテナンス]>[インク供給メンテ]を実施して、エラーが解消されるか確認してください。
65b	NCU*1感度調整エラーH	• センサー感度調整に失敗した。	• NCU*1を清掃してください。☞「NCU（オプション）の清掃」（P. 99） • エラーが解消されない場合、NCU（オプション）の交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
65c	NCU*1感度調整エラーL		
683	ワイパーニアエンド	• 布ワイパーが、残りわずかになっている。	• 間もなく布ワイパーがなくなります。新しい布ワイパーを用意してください。
684	ワイパーエンド	• 布ワイパーがなくなった。	• 新しい布ワイパーに交換してください。☞「ワイパーエンドが表示されたとき」（P. 108）
702	サーミスタ接続	• サーミスタの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
703	!XXXヒーター断線	• ヒーターの温度に異常を検出した。	
706	UVランプ温度高い	• UV-LEDユニットが高温になった。	• 頻発する場合、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
707	ヘッドヒーター断線	• ヘッドヒータが断線した。（一定時間以上加熱しても温度が上がらない）	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
70b	DRV OVHT	• UV-DRV基板が高温になった。	
710	ヒーター温度異常	• ヒーターの温度に異常を検出した。	• 自動で異常を解決するように制御しています。異常が解決されない場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
711	LED OVHT*	• UV-LED基板が高温になった。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
715	インクヒータ サーミスタ	• インクヒーターのサーミスタが正常に読めない。	
716	インクヒーター温度異常	• インクヒーターの温度異常を検出した。	
717	インクヒーター断線	• インクヒーターが断線した。(一定時間以上加熱しても温度が上がらない)	
71a	UV-DRV ヒューズ	• UV-DRV基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
71e	ヘッド温度異常	• ヘッド温度の異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
71f	ヘッドサーミスタ断線	• ヘッドのサーミスタが正常に読めない。	
754	インクヒーター温度異常	• インクヒーターの温度異常を一定時間検出した。	
756	ヘッド温度異常	• ヘッド温度の異常を一定時間検出した。	
801	（C）OPCODE	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
802	（C）SWI		
803	（C）PFTCHABRT		
804	（C）DATAABRT		
806	FW/SIO bit	• 基板間通信エラーを検出した。	
808	FW/STP-MTR**	• メイン基板に異常を検出した。	
80f	FW/SIO Vch	• 基板間通信エラーを検出した。	
811	FW/SIO read	• 基板間通信エラーを検出した。	
81b	FW/STACK OV	• メイン基板に異常を検出した。	
828	PRG ERR L*****		
901	実行できません	• 何らかのエラーにより機能が実行できない。	• エラーの内容を確認してください。 – メディア未検出 – インクエラー – 廃インクタンクなど
902	未作図 データ アリ	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
90f	プリント エリア不足	• プリント領域が不足している。	• メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。
b49	PCB VHVFET[1]	• 基板の電源に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）
b5a	PCB MAIN-F**	• メイン基板のヒューズ切れを検出した。	
b5c	Main PCB V05U	• メイン基板5V電源に異常を検出した。	
b5d	Main PCB V3R3U	• メイン基板3.3V電源に異常を検出した。	
b5e	Main PCB V1R5D	• メイン基板1.5V電源に異常を検した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
b5f	Main PCB V1R2U	• メイン基板1.2V電源に異常を検出した。	
b60	Main PCB V24	• メイン基板24V電源に異常を検出した	
b6b	HEAD FFC	• ヘッドFFC1～4(CN11～14)が正しく接続されていない。	
c36	トンボ検出	• トンボ検出ができなかった。	1. トンボ間にプリントや汚れがあるかどうかを確認してください。 2. 透明メディアを使用している場合は、塗りつぶしトンボの設定を行ってください。
d1b	COM VOLT[1]	• LCUメインE基板の電圧に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 31）

*1.NCUはオプションです。

SYSTEM HALT

• SYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

第 6 章　付録



この章では...

本機の仕様など説明しています。

仕様 .....142　LICENSE Library (EPL5 StarterWare) 145

6.1 仕様

項目			UJV200-130	UJV200-160
プリントヘッド	方式		オンデマンドピエゾヘッド	
	仕様		ヘッド（400ノズルx 8列）を1つ搭載	
	解像度	Y	600 dpi、900 dpi、1,200 dpi	
		X	600 dpi、1,200 dpi	
インクセット	4-color		C, M, Y, K	
	4-color, W		C, M, Y, K, W	
	4-color, W, CL		C, M, Y, K, W, CL	
メディア	種類		ラベル原紙（紙ベース）、塩ビシート（ラミネート加工を含み、厚さ0.25 mm以下）、蛍光シート、反射シート、ウインドフィルム、ターポリン	
	最大プリント幅[*1]		1,360 mm	1,610 mm
	最大幅		1,370 mm	1,620 mm
	最小幅		210 mm	
	厚さ		1.0 mm以下	
	ロール外径[*2]		ø180 mm以下	
	ロール重量[*2, 3]		25 kg以下	
	紙管内径[*4]		2インチ、または3インチ	
	プリント面		外面、内面	
	巻き終り処理		紙管にテープ止め、または弱粘着	
プリントマージン	左右		15 mm（デフォルト値）、最小値：左右 5 mm	
	前端		70 mm（デフォルト値）、最小値：左右 10 mm	
	後端		70 mm（デフォルト値）、最小値：左右 10 mm	
距離精度[*5]	絶対精度		±0.3 mm、または指定距離の±0.3 %の大きい方	
	再現性		±0.2 mm、または指定距離の±0.1 %の大きい方	
直角度			±0.25 mm / 1,000 mm	
メディアスキュー			2.5 mm以下 / 10 m	
プリントギャップ			手動2段階（1.5、2.0 mm）	
クランプ圧			-	
メディア裁断			裁断精度（段差）1.0 mm以下	
原点位置合わせ			LEDポインター式	
インク供給			ボトル	
廃インクタンク			ボトル式（2,000 ml）	
巻き取りユニット			内巻き、外巻き 切り替え可能	
メディアヒーター			PRE	
NCU(ノズル詰まり検出)			オプション	
DAS2（自動補正機能）			搭載	

項目			UJV200-130	UJV200-160
機内照明			-	
UV装置			搭載	
インターフェイス	データ転送機能		Ethernet 1000BASE-T *7, 8、USB 2.0 Hi-speed *8, 9	
コマンド			MRL-V	
言語			日本語、英語、中国語、トルコ語、ポルトガル語、スペイン語、イタリア語、韓国語、フランス語	
騒音	待機時		55 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）	
	連続動作時		59 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）	
	不連続動作時		70 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）	
適合規格			VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、EnergyStar、RCMマーク、KC 認証、IEC62471	
電源仕様 *10			単相AC100-120V±10%/11A、単相AC200-240V±10%/5.5A、50/60±1Hz	
消費電力	最大 *11	Inlet 1	AC100-120V：1,320 W以下、AC200-240V：1,320 W以下	
		Inlet 2	-	
	標準	Inlet 1	550 W	
		Inlet 2	-	
	最小 *12	Inlet 1	4.5 W以下	
		Inlet 2	-	
設置環境 *13	使用可能温度		20 - 30 °C	
	相対湿度		35 - 65 %Rh（結露なきこと）	
	精度保証温度		20 - 25 °C	
	温度勾配		±10 °C/h 以下	
	粉塵		0.15 mg/m^3（オフィス相当）	
	動作最高高度		2,000 m	
外形寸法 *14	幅		2,520 mm（2660mm）	2,770 mm（2910mm）
	奥行き		748 mm（750mm）	
	高さ		1,405 mm（830mm）	

項目	UJV200-130	UJV200-160
重量*14	155kg（186kg）	160kg（197kg）

*1. 設定メニューのマージンを左右を最小値（5mm）に設定したとき。
*2. メディア巻き取り後の外径および重量。
*3. 重量によるたわみがない範囲。
*4. 高速プリント時は3インチのみ。
*5. メディアの伸縮やメディアセット初期蛇行は除く。
*6. 部分切り替え可。クランプオフ含む。
*7. ローカルガイダンスで、“1000Mbps”以外が表示されている場合、プリント不可。LANケーブルを使う
*8. 接続環境やプリントデータによって、プリント速度が低下するおそれあり。本機とコンピューターを接続する
*9. 本機へのデータ転送速度が遅く、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれあり。
*10. オプション類除く。
*11. プリントモードによって異なる。
*12. スリープ時。
*13. 範囲外の環境下では、インク吐出安定性が低下するおそれあり。
*14. インクボトルを除くサイズ。（）内は、梱包サイズ。

6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright @2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - http://www.ti.com/

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

D

DAS（Dot Adjustment System） 95
DAS2：Dot Adjustment System2 80
DAS（自動補正機能）/紙幅センサー 100

E

[END/POWER]キー 26, 27, 31
[ENTER]キー 27

F

[FUNCTION]キー 27, 29

J

[JOG]キー 27

L

LANGUAGE 89
LANケーブル 23, 33
LANポート 23

M

MAPS:Mimaki Advanced Pass System 81
Mimakiドライバー 36
MRA（Mimaki Remote Access） 89

N

NCU（Nozzle Check Unit） 24, 99

P

PINコード 89

R

RasterLink 36, 37, 71, 72, 88

S

[SEL]キー 27
SYSTEM HALT 27

U

USBインターフェイスケーブル 23, 34
USBポート 23

UV-LEDライト 80
UV光量調整 80
UVモード 80
UVランプ 91

V

VCCI 5

い

イオナイザー 81
インクエラー 28
インクエンド 38
インク供給メンテ 85
インク残量 28
インクニアエンド 38
インクの状態 28
インク排出経路 95, 101
印刷中チェック 84
インストールガイド 36, 37
インターロック 17
インレット 23, 30

え

エラー履歴 91
エラー 27, 129

お

オートクリーニング 85
オートパワーオフ 87
オートパワーオン 87
オートメンテナンス 84

か

開閉カバー 22
確認フィード 88
カット前フィード 88
カット溝 24
カラープロファイル 36
環境設定メニュー 89

き

キーブザー 89

キーライフタイム 89
機能設定メニュー 87
キャップ吸収材 113
キャップ交換 83
キャップ使用 91
キャップ 24, 95, 96, 111
キャリッジアウト 83
キャリッジ 22, 24, 27, 83, 95, 97
キャンセル 27
吸着ファン 81

く

空気抜き 85, 126
クランプレバー 22, 23
クリーニング 65, 83
繰り出しユニット 23
グリットローラー 22, 25

け

警告ラベル 18

こ

コンセント 30

し

時刻設定 89
自動ノズルリカバリー 84
自動補正（DAS） 80
自動補正（DAS2） 130
自動補正 29
自動リモート 88
遮光カバー 39, 127
ジャムセンサー 22, 95, 104
受信障害 5
受信バッファ 75
主電源スイッチ 23, 26, 30
詳細設定 81
使用時間 91
使用状況 91
シンボルマーク 6

す

スイッチングハブ 33
ステーションメンテ 83
ステーション 22, 24
ステータスランプ 27
スムージングレベル（カラー） 81
スムージングレベル（スポット） 81

せ

設置スペース 16
センサー感度 129, 137

そ

操作パネル 22, 27

た

高さ調整レバー 49
単位表示設定 89

て

定期ワイピング 85
ディスプレイ 27, 28
テストプリント 27, 63, 83
電源ケーブル 30
電源設定 87
電源プラグ 30
電波障害自主規制 5

と

ドカ抜け 126
吐出不良 63, 65, 83, 86, 111, 122
ドット位置補正 29, 48, 69, 80
トルクリミッター 52

ぬ

布ワイパー 98

ね

ネットワーク 89

の

ノズル洗浄 83, 125
ノズルチェック 84, 86
ノズル詰まり 65, 86

ノズルリカバリー 84, 86
ノットレディモード 28

は

バージョン 91
廃インクタンク 22, 85, 91, 95, 117, 118
廃インク量補正 117
判定条件 84

ひ

ヒーター 23, 26, 81, 127
引き戻し印刷 67
飛行曲がり 65
表示言語 89
ピンチローラー 22, 25

ふ

フィード速度 82
フィード補正（引き戻し） 80
フィード補正 29, 48, 67, 80
プラテン 22, 24, 95, 104
プリヒーター 62
プリント原点 73
プリント中メンテ 84
プリント長 91
プリント面積 91

へ

ページ間余白 88
ヘッドクリーニング 27
ヘッド高さ 49

ほ

保管洗浄 83, 106
ボトルキャップ 39, 40, 42
ホワイトインク 64
ホワイトメンテナンス 85
ポンプチューブ洗浄 101

ま

マージン 88
巻き取りスイッチ 87

巻き取りユニット 22, 51, 87
マシンステータスメニュー 91

め

メディア押さえ 95, 103, 114
メディア裁断カッター 22, 95, 102, 116
メディア削除 82
メディア残量 81
メディア情報 81
メディアストッパー 53
メディア設定メニュー 80
メディアセンサー 23, 25, 95, 101
メディア幅 81
メディアフィード 27
メディア名称変更 82
メディア 50
メニューモード 28
免責事項 5
メンテナンス液吸収材 113
メンテナンスカバー 22
メンテナンスメニュー 83

よ

余白設定 88
余白フィード方式 88

り

リスト 91
リファレンスガイド 72
リモートコントロール 89
リモートモード 27, 28

ろ

ローカルガイダンス 29
ローカルモード 27, 28
ロールホルダー 54, 55
ロジカルシーク 87

わ

ワイパー交換 83, 91, 108
ワイパー 24, 83, 128

取扱説明書

2026年10月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203917-13-30102026



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

KM
FW : 1.3